Canon



レーザビームプリンタ

LASER SHOT
LBP-1420

設置ガイド

最初にお読みください。

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN



取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。



このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。



このマークが付いているガイドは、付属の取扱説明書CD-ROMに収められているPDF マニュアルです。

- **プリンタを設置するには**
- **パソコンと接続するには**
- **オプション品を取り付けるには**

設置ガイド（本書）  

- **トラブルの簡単な解決方法を知るには**
- **プリンタの簡単な使いかたを知るには**

かんたん操作ガイド 

- **基本的な使いかたを知るには**
- **困ったときには**

ユーザーズガイド 

- **プリンタドライバのインストール方法を知るには**

LIPS ソフトウェアガイド／スタート編 

- **プリンタドライバのインストール方法を知るには**
- **印刷するには**
- **添付ソフトウェアの使いかたを知るには**

LIPS ソフトウェアガイド／本編 

- **操作パネルを使ってプリンタを設定するには**

LIPS 機能ガイド 

別売の取扱説明書

お求めについては販売店にご相談ください。

プログラマーズマニュアル

LIPS対応のプリンタドライバや印刷の設定プログラムなどを作成するプログラマー用の取扱説明書です。

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 表紙に掲載されている製品写真は、実際の製品とは異なる場合があります。

本書の構成について

各部の寸法や、ソフトウェアのバージョンアップ方法、保守サービスのご案内などを掲載しています。

設置サービスのご案内

本製品の設置は、設置ガイドおよびユーザーズガイドをご一読いただくことで簡単に行えますが、設置について不安な場合や、遠隔地に設置をご希望される場合には、専門のサービスマンが設置を有償で行います。本製品をお買い求めの販売店などへ依頼してください。

目次

第2章　プリンタの設置

第3章　オプション品の取り付け

第4章　プリンタの動作と機能を確認する

第5章　付録

はじめに

このたびはキヤノン LBP-1420 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キーについて

本書では、キー名称を以下のように表しています。

- 操作パネル上のキー：[キー名称]

例：[オンライン]
[ユーティリティ]

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® operating system：	Windows
キヤノン内蔵型プリントサーバNB-5F：	プリントサーバNB-5F
LASER SHOT LBP-1420：	LBP-1420

規制について

商標について

Canon、Canonロゴ、LBP、LIPS、NetSpotは、キヤノン株式会社の商標です。

FontGallery、LASER SHOTは、キヤノン株式会社の日本における登録商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、AppleTalk、EtherTalk、Mac OS、Macintoshは、米国Apple Computer, Inc.の商標です。

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標です。

Novell、NetWare®は、米国Novell, Inc.の商標です。

UNIXは、The Open Groupの米国およびその他の国における登録商標です。

Ethernetは、米国Xerox Corporationの商標です。

NetHawkは、キヤノンイメージングシステムテクノロジーズ株式会社の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ **著作物など**

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製する場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

関係法律	• 刑法	• 郵便法
	• 著作権法	• 郵便切手類模造等取締法
	• 通貨及証券模造取締法	• 印紙犯罪処罰法
	• 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	• 印紙等模造取締法

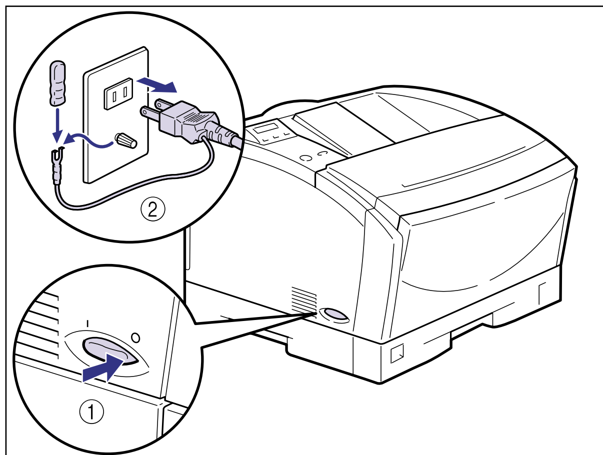
安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。ここに書かれている警告・注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。

設置について

警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
  製品内部に入った場合は、直ちに電源をオフにし①、電源プラグを抜いて②、お買い求めの販売店にご連絡ください。
  - ・アクセサリーなどの金属物
  - ・コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器



注意

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - ・湿気やほこりの多い場所
  - ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所

・雨や雪が降りかかるような場所

・水道の蛇口付近などの水気のある場所

・直射日光のあたる場所

・高温になる場所

・火気に近い場所

- 製品を設置する場合は、製品と床面、製品と製品の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- インタフェースケーブルを接続する場合は、本書の指示に従って正しく接続してください。正しく接続しないと、製品の故障や感電の原因になることがあります。
- 製品を持ち運ぶ場合は、本書の指示に従って正しく持ってください。製品を落としたりして、けがの原因になることがあります。（→設置場所に運ぶ：P.2-3）

電源について

警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

  [アース線を接続してもよいもの]

  ・電源コンセントのアース線端子

  ・接地工事（D種）が行われているアース線端子

  [アース線を接続してはいけないもの]

  ・水道管･･･配管の途中でプラスティックになっている場合があり､その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。

  ・ガス管･･･ガス爆発や火災の原因になります。

  ・電話線のアースや避雷針･･･落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。

  ・延長コードに延長コードの接続はしないでください。

  ・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。

・延長コードは定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。
・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。
・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。

注意

- 表示された以外の電源電圧では使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

取り扱いについて

警告

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電気部品は誤って取り扱うと思わぬけがをして危険です。電源コードやケーブル類、製品内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。
- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに電源をオフにし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 製品内部にクリップやホッチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが製品内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になります。これらが製品内部に入った場合は、直ちに電源をオフにし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電源をオンにした状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源をオンにした状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

注意

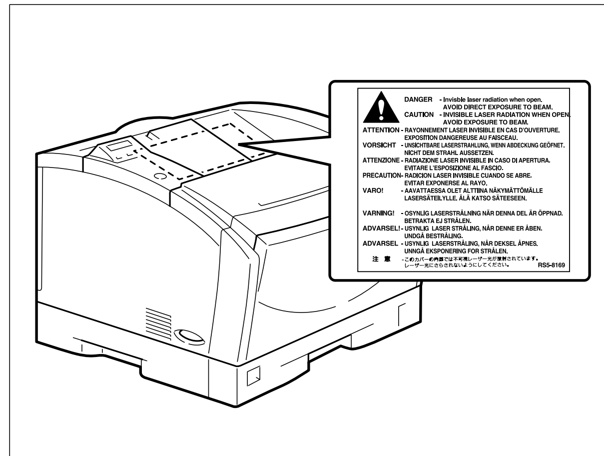
- 製品の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- メインボードや拡張ボード、RAM の取り扱いには注意してください。メインボードや拡張ボード、RAM の角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにしてください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合には

レーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

・本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。

・レーザースキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。

・万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因となることがあります。



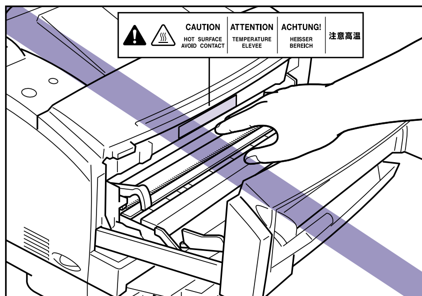
保守／点検について

警告

- 清掃のときは、電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品内部には高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠ 注意

- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。



- 紙づまり処理やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

消耗品について

⚠ 警告

- トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジ、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠ 注意

トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もし、カートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

設置する前に

1

CHAPTER

この章では、本プリンタに装着可能なオプション品の紹介と取り付け手順、設置場所の決めかたについて説明しています。

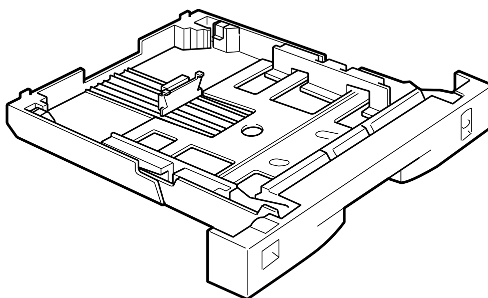
オプション品について

本プリンタの機能をフルに活かしてお使いいただくために、次のようなオプション品を用意しています。必要に応じてお買い求めください。オプション品については、本プリンタをお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

給紙カセット

給紙カセットには、250枚ユニバーサルカセットがあり、A3、B4、A4、A4R、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの普通紙を最大で約250枚（64g/m^2）までセットできます。

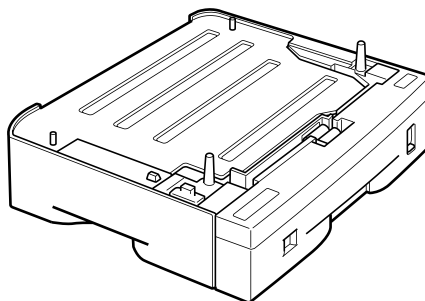
250枚ユニバーサルカセットUC-65Dは、プリンタ本体の標準カセット（カセット1）およびペーパーフィーダのカセット（カセット2～4）と差し替えて使用します。



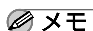
ユニバーサルカセット UC-65D

ペーパーフィーダ

ペーパーフィーダユニットは、250枚ペーパーフィーダと250枚給紙カセットがセットになっています。プリンタ本体の底面に最大３つまで取り付けることができます。250枚給紙カセットにはA3、B4、A4、A4R、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの普通紙を最大で約250枚（64g/m²）までセットできます。



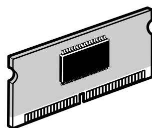
ペーパーフィーダユニット PF-65D



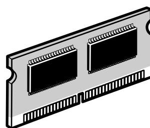
- ペーパーフィーダユニットはLBP-1420専用です。他の機種のペーパーフィーダは使用できません。
- ペーパーフィーダユニットは最大３台まで取り付けることができます。
- ペーパーフィーダユニットの取り付けかたについては、「ペーパーフィーダ」（→ P.3-2）を参照してください。

拡張RAM

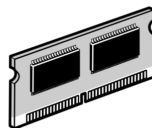
拡張RAMはメモリ容量を拡張するための増設メモリです。本プリンタは12MBのメモリを標準装備しています。拡張RAMは1個増設可能で、メモリ総容量を140MBまで増やすことが可能です。



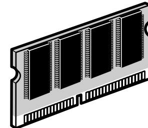
16MB（RD-16MS）



32MB（RD-32MS）



64MB（RD-64MS）



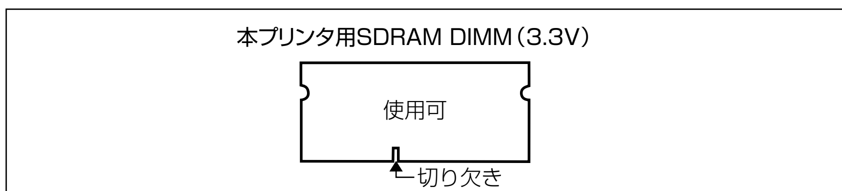
128MB（RD-128MS）

拡張 RAM には、16MB（RD-16MS）、32MB（RD-32MS）、64MB（RD-64MS）、128MB（RD-128MS）の４種類のボードがあります。

拡張RAM	取り付け後の容量	印字保証サイズ
なし	12MB	B4
16MB	28MB	A3×2
32MB	44MB	A3×4
64MB	76MB	A3×8
128MB	140MB	A3×8

表中の印字保証サイズは、「印字動作」を「ガシツ　ユウセン」、「解像度」をファインモード、「階調」を標準に設定した場合の値です。
用紙サイズ（面積）は大きい順にA3、レジャー、B4、リーガル、A4、レター、エグゼクティブ、B5、A5、B6、往復ハガキ、洋形４号封筒、洋形２号封筒、ハガキです。

重要
- 拡張RAMは、必ず本プリンタに対応した3.3V用SDRAM DIMMをご使用ください。キヤノン製拡張RAM（RD-16MS、RD-32MS、RD-64MS、RD-128MS）のご使用をおすすめします。



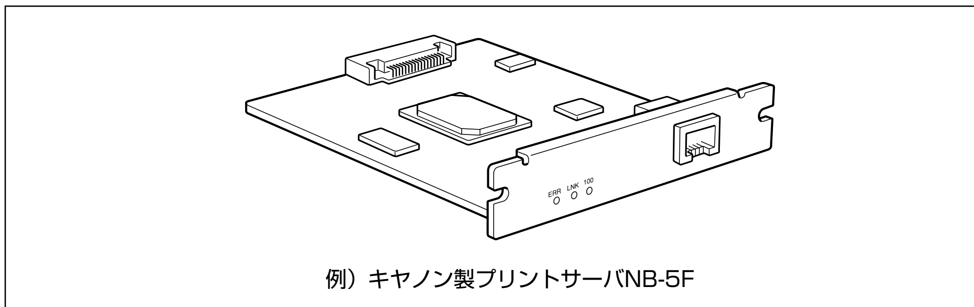
- 従来の拡張RAM DIMM（RD-4M、RD-8M、RD-16M、RD-4ME、RD-8ME、RD-16ME、RD-16ML、RD-32ML、RD-64ML）は、使用できません。誤って使用した場合は、正しく動作しません。



メモ
- 印字保証サイズについてはLIPS 機能ガイド「第３章 セットアップメニューの設定項目」を参照してください。
- オーバレイなどの大容量登録データを処理する場合にも拡張RAMの増設が必要です。
- 拡張RAMの取り付けについては「RAM」（→P.3-18）を参照してください。

プリントサーバ

プリントサーバは、本プリンタをLANに接続するためのプリンタ内蔵型ネットワークボードです。IPX/SPX、TCP/IP、NetBIOS/NetBEUI、AppleTalkのプロトコルに対応したものがありますので、Windows、Macintosh、UNIX、NetWare、イントラネットなど幅広いLANシステムに対応可能です。専用のネットワーク管理ソフト「NetSpot Device Installer」や「NetSpot Console」はプリンタに標準同梱されています。



例）キヤノン製プリントサーバNB-5F

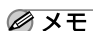


- 装着できるプリントサーバについては、「パソコンと接続する」（→P.2-31）を参照してください。
- プリントサーバの取り付けかたについては、「プリントサーバ」（→P.3-25）を参照してください。

プログラマーズマニュアル

本プリンタ用のプリンタドライバや印刷設定プログラムなどを作成するための、プログラマー用の取扱説明書です。次の３種類が用意されています。

- プログラマーズマニュアル「ソフトウェア概説書４.2」
  （LIPSコマンドの概要を知るための取扱説明書）
- プログラマーズマニュアル「コマンドリファレンス４.2」
  （LIPSコマンドの手引き）
- プログラマーズマニュアル「クックブック４.2」
  （プログラムサンプル集）

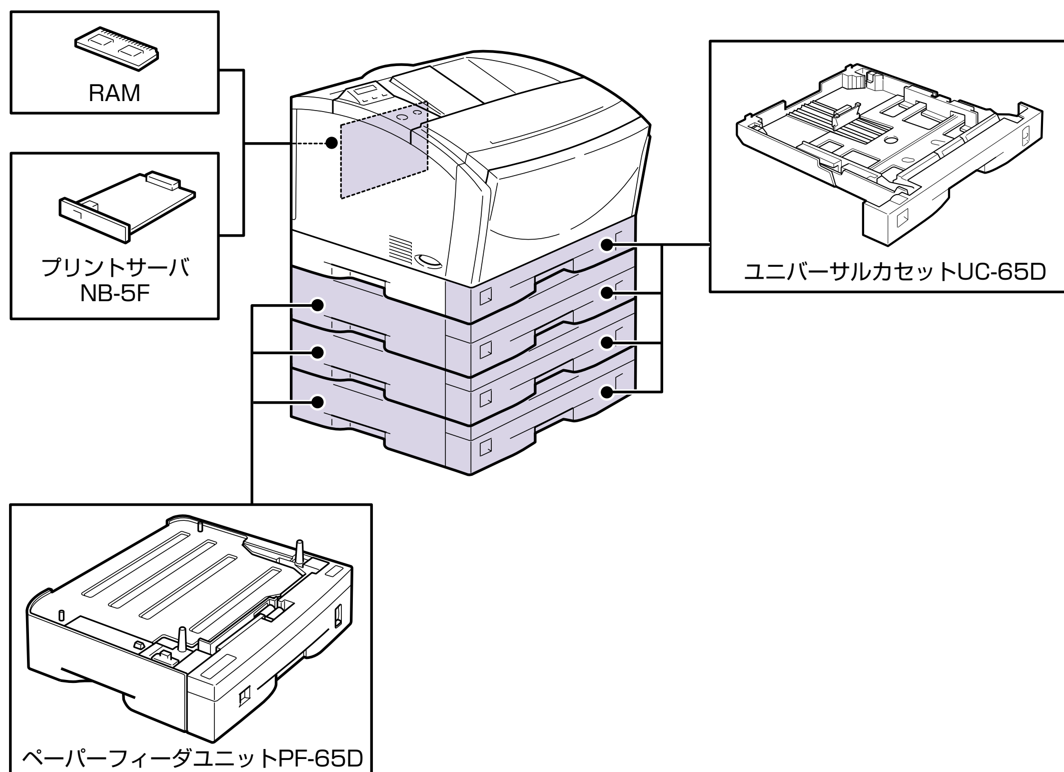


LIPS IVのプログラマーズマニュアルは、キヤノンホームページからダウンロードすることができます。

設置手順について

本プリンタは、取り付けるオプション品によって、設置する手順が異なります。お買い求めになったオプション品の内容を確認し、次表の手順で作業を行ってください。

オプション品の取り付け位置



設置の手順

お客様の設置状況に合わせ、該当する手順にそって作業を進めてください。オプション品を取り付けない場合は、（オプション）と表記された手順は読み飛ばしてください。

1 ペーパーフィーダの設置（→P.3-2）（オプション）

2 プリンタ本体の設置（→P.2-3）

3 トナーカートリッジのセット（→P.2-11）

4 用紙のセット（→P.2-20）

5 RAMの取り付け（→P.3-18）
プリントサーバの取り付け（→P.3-25）（オプション）

6 本体とパソコンの接続（→P.2-31）

7 電源コード、アース線の接続（→P.2-40）

設置場所について

本プリンタを安全かつ快適にご使用いただくために、「設置環境」に記載されている「温度／湿度条件」、「電源条件」、「設置条件」を満たした場所に設置してください。

重要　本プリンタを設置する前に「安全にお使いいただくために」（→P.viii）を必ずお読みください。

設置環境

本プリンタの設置場所は、次の環境条件を考慮の上、お選びください。

温度／湿度条件

温度、湿度が以下の範囲内の場所でご使用ください。

- 周囲温度：10～32.5℃
- 周囲湿度：20～80%RH（結露のないこと）

重要

- 次のような場合は、プリンタ内部に水滴が生じる（結露）ことがあります。本プリンタを周囲の温度や湿度に慣らすために、2時間以上放置してからご使用ください。
  - ・本プリンタが設置されている部屋を急激に暖めた場合
  - ・本プリンタを温度や湿度が低い場所から高い場所へ移動させた場合
- プリンタ内部に水滴が生じると、用紙の搬送に不具合が起こり、紙づまりの原因となったり、プリント不良となることがあります。また「5F-nn　サービスコール」というメッセージが表示され、プリント処理が停止することがあります。詳しくは、ユーザーズガイド「第5章 困ったときには」を参照してください。

■ 超音波加湿器をご使用のお客様へ

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をおすすめします。

電源条件

本プリンタの最大消費電力は、835W* 以下（AC100V ± 10%,50/60Hz ± 2Hz）です。電気的なノイズや許容範囲を超える電源電圧の降下は、本プリンタだけでなく、パソコン本体の誤作動やデータ消失の原因になることがあります。

＊注：フルオプション装着時は 840W 以下です。ただしこの値は、起動時の瞬間的なピークを除いた値です。

電源を接続するときは、次の事項をお守りください。

- 必ず 15A以上の電源コンセントに、プリンタの電源を接続してください。
- アース線を接続してください。

お使いの電源についてご不明な点があれば、ご契約の電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

警告 必ずアース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

重要
- 一つの電源コンセントを本プリンタ専用にしてください。同一電源コンセント上の他の差し込み口は、使用しないでください。
- パソコン本体の補助コンセントに電源を接続しないでください。
- 複写機やエアコン、シュレッダーなど、消費電力の大きな機器や電気的ノイズを発生する機器と同じコンセントに電源を接続しないでください。

設置条件

本プリンタは次のような場所に設置してください。

- 十分なスペースが確保できる場所
- 風通しがよい場所
- 平坦で水平な場所
- 本プリンタおよびオプション品の質量に耐えられる十分な強度のある場所

警告 アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

注意

- 本プリンタを次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - ・湿気やほこりの多い場所
  - ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - ・雨や雪が降りかかるような場所
  - ・水道の蛇口付近など水気のある場所
  - ・直射日光のあたる場所
  - ・高温になる場所
  - ・火気に近い場所
- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

重要 本プリンタは次のような場所に設置しないでください。故障の原因となることがあります。

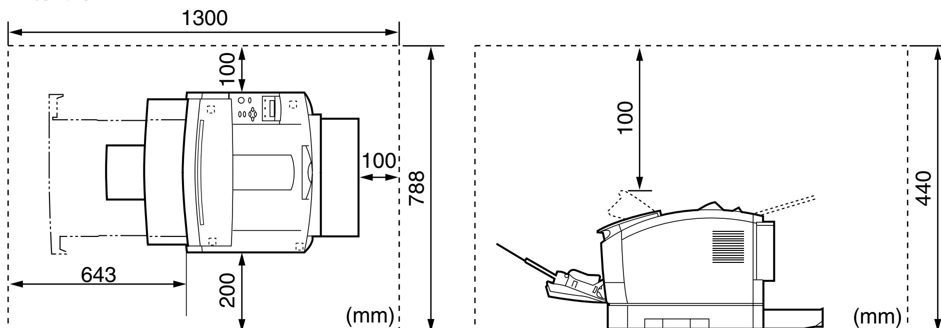
- ・急激な温度変化や湿度変化がある場所や結露の発生する場所
- ・風通しの悪い場所
- ・磁気や電磁波を発生する機器の近く
- ・実験室など、化学反応を起こすような場所
- ・空気中に、塩分やアンモニアガスなどの腐食性または毒性のガスを含んでいるような場所
- ・本プリンタおよびオプション品の質量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）

設置スペース

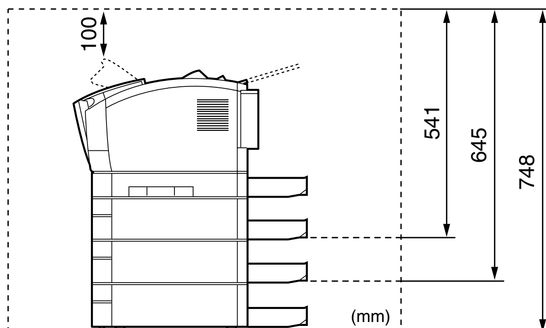
本プリンタの周囲には、次のような空間を確保し、本プリンタの質量に耐えられる場所を選んで設置してください。各部の寸法、および周囲に必要な寸法、足の位置は次のようになっています。

周囲に必要なスペース

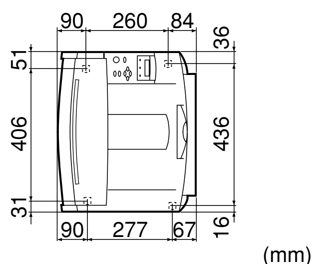
■標準状態



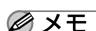
■ペーパーフィーダ装着状態



足の位置



(mm)



ゴム足の高さは5mm、先端は18mm × 18mmの正方形です。

プリンタの設置

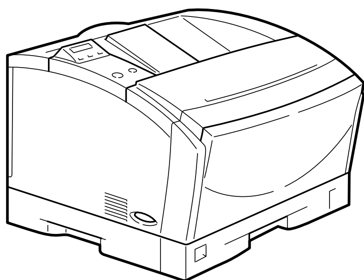
2

CHAPTER

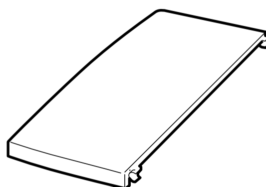
この章では、本プリンタをパッケージから取り出して設置するまでの手順について説明しています。オプション品を同時に取り付ける場合には、第３章「オプション品の取り付け」と併せてお読みください。

パッケージの内容を確認する

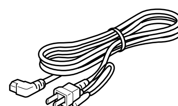
プリンタを設置する前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているかを確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合には、お買い求めの販売店までご連絡ください。



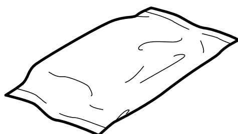
□プリンタ本体
（給紙カセットが取り付けられています。）



□カセット保護カバー



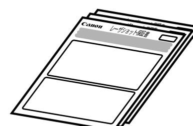
□電源コード



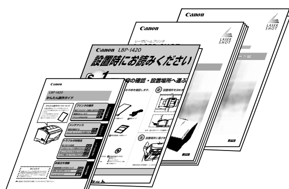
□トナーカートリッジ
（EP-65トナーカートリッジ）



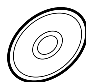
□FontGallery Deluxe CD
全書体見本



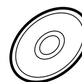
□保証登録書／封筒セット



□取扱説明書
■ 設置時にお読みください
■ 設置ガイド
■ かんたん操作ガイド
■ LIPSソフトウェアガイド／スタート編



□LIPS IV User Software CD-ROM
■ プリンタドライバ
■ ユーティリティソフト



□取扱説明書CD-ROM
■ 設置ガイド
■ ユーザーズガイド
■ LIPSソフトウェアガイド／本編
■ LIPS機能ガイド



本プリンタにはインタフェースケーブルは付属していません。お使いのパソコン、または接続方法に合わせてご用意ください。

設置場所に運ぶ

設置場所が確保できたら、本プリンタをパッケージから取り出し、設置場所へ運びます。

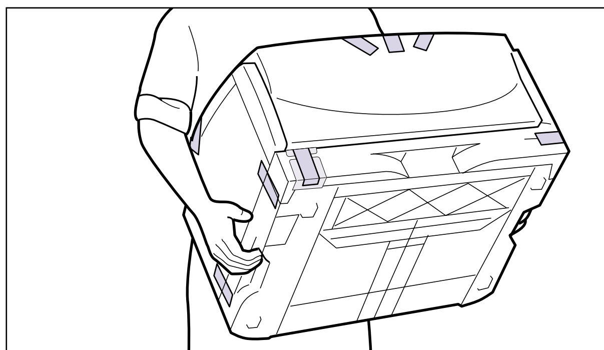
重要
- 本プリンタを設置する場合は、本体の質量に耐えられる机などに設置してください。
- 本プリンタおよびオプション品の質量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）には設置しないでください。
- オプションの 250 枚ペーパーフィーダを取り付けるときは、プリンタ本体をパッケージから取り出す前に、250 枚ペーパーフィーダを設置場所に設置してください。250 枚ペーパーフィーダの設置方法については、「ペーパーフィーダ」（→P.3-2）を参照してください。

1 **プリンタ本体をパッケージから取り出します。**

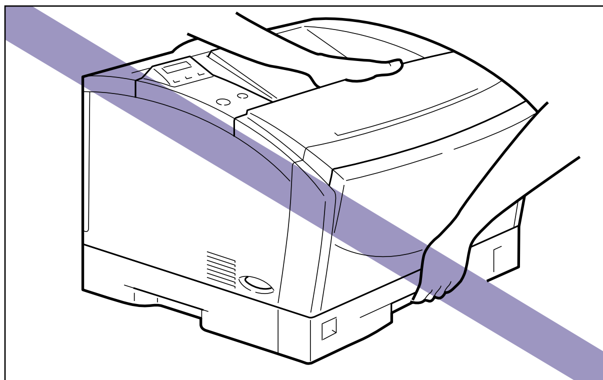
重要
プリンタ本体の取り出し作業は、周囲に十分なスペースがある広い場所で行ってください。

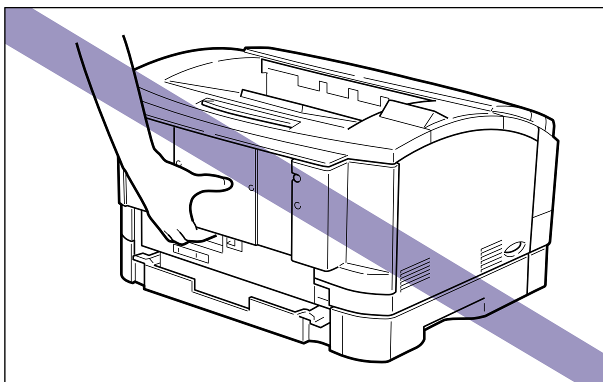
2 **プリンタ本体を設置場所へ運びます。**

図のように本体の左右に手を掛け、しっかりと抱えて持ち運びます。



注意
- 本プリンタはトナーカートリッジを取り付けていない状態で約 15.0kg あります。腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に、給紙カセットなど、指定以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。





重要　給紙カセットや給紙カセットを止めてあるテープは付けたまま持ち運んでください。

3 設置場所にゆっくりとおろします。

注意　プリンタはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

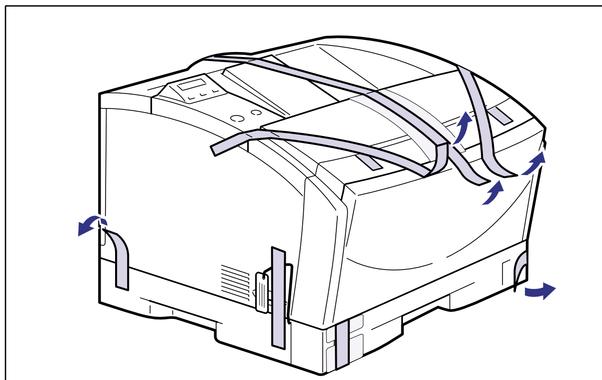
重要　設置場所には、オプション品の取り付けやケーブルの接続などを行うためのスペースを確保しておいてください。

梱包材を取り外す

本プリンタには、輸送時の振動や衝撃から装置を守るために、テープや梱包材が取り付けられています。設置場所へ運んだら、これらのテープや梱包材を取り外してください。

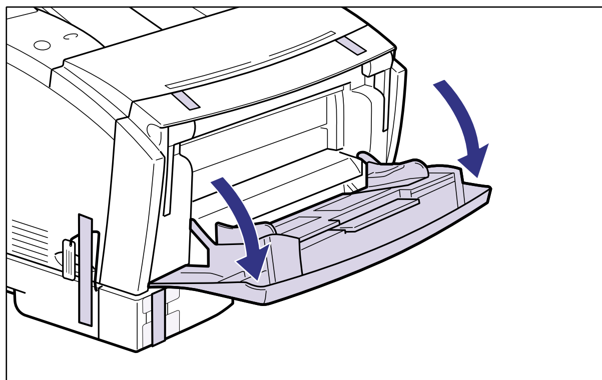
重要
- プリンタ内部に梱包材が残っていると、動作時に印字不良や故障の原因になります。必ず手順にしたがって梱包材を残さずに取り外してください。
- 取り外した梱包材は、移動や移設、修理などの輸送時に必要になります。なくさないよう大切に保管しておいてください。

1 給紙トレイや給紙カセットなどを止めているテープを取り外します。

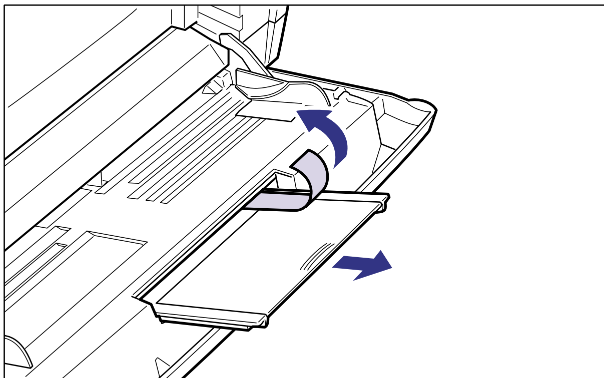


2 給紙トレイを開けます。

給紙トレイは、左右の取っ手を持ち、最後まで手をそえてゆっくりと開けます。

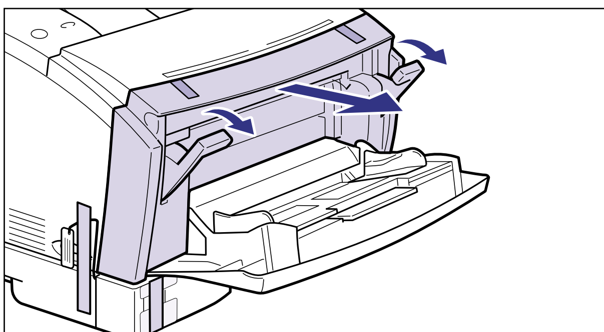


3 補助トレイを引き出し、テープを取り外します。

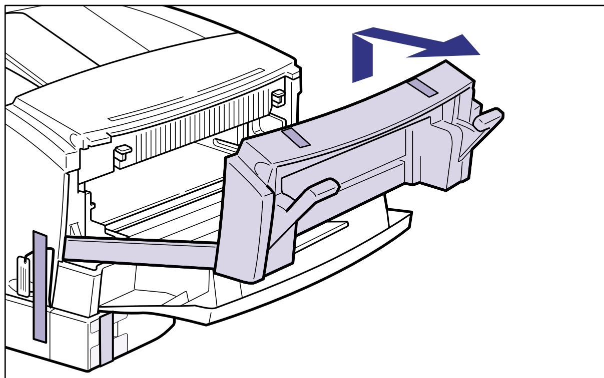


テープを取り外したら、補助トレイを元に戻します。

4 左右の開閉レバーを下げて、前カバーを引き出します。



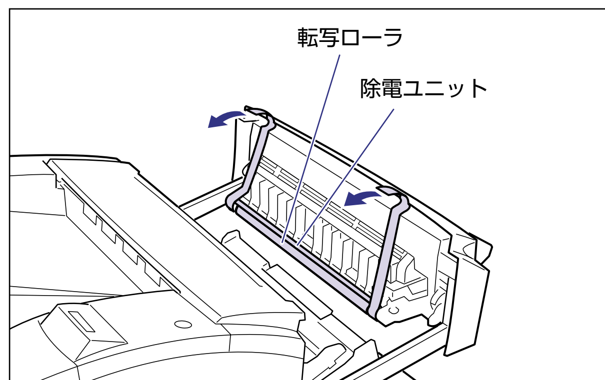
作業がしにくい場合は、前カバーを少し上に持ち上げると、取り外すことができます。





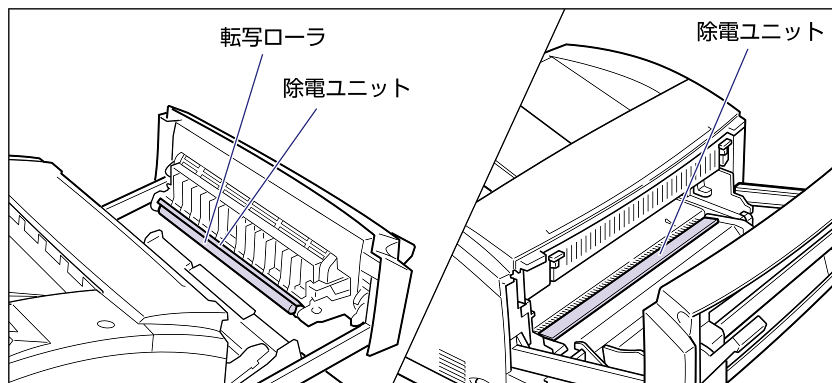
取り外した前カバーは安全な場所に置いてください。

5 前カバー内側のテープを取り外します。

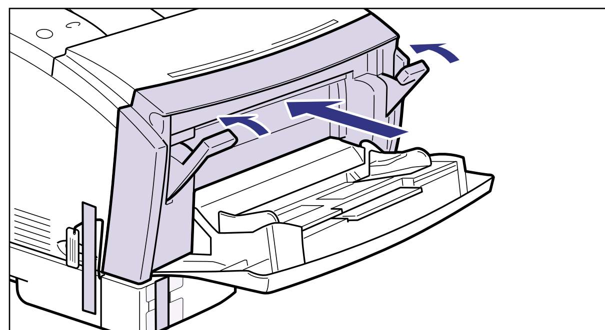




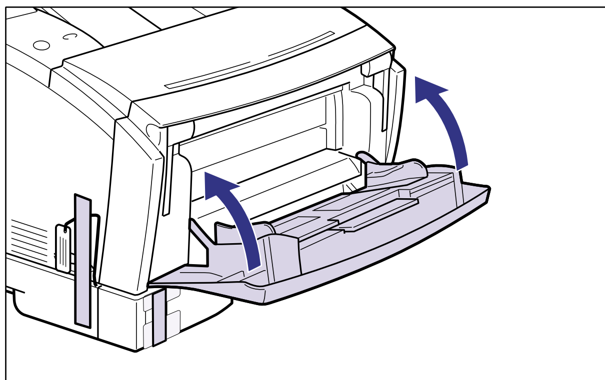
転写ローラおよび除電ユニットには、絶対に手を触れないでください。印字品質が低下することがあります。



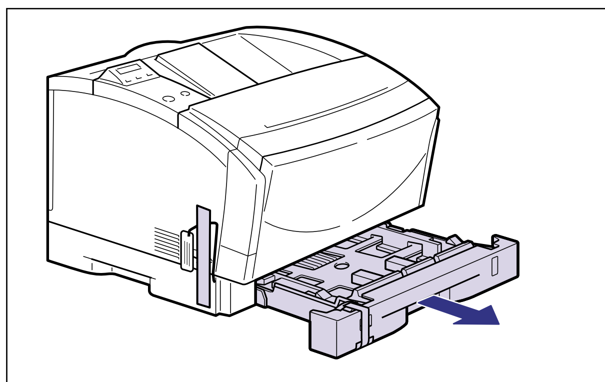
6 前カバーを閉じ、左右の開閉レバーを上げてロックします。

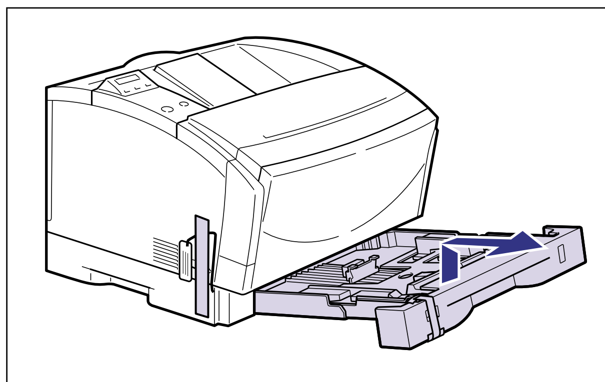


7 給紙トレイを閉めます。



8 給紙カセットをゆっくりと止まる位置まで引き出し、手前側を持ち上げてプリンタ本体から取り外します。

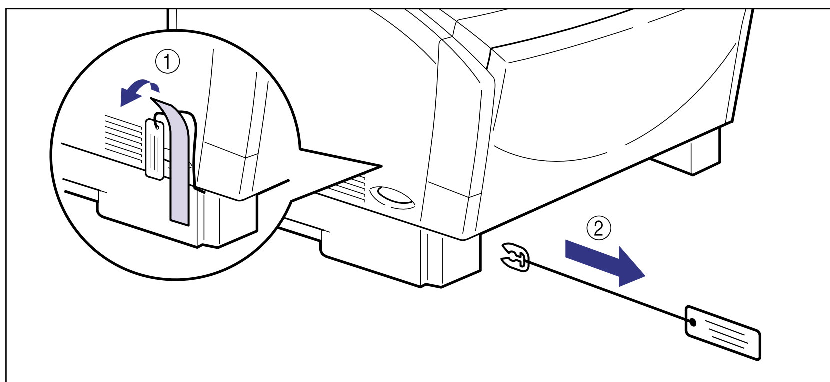




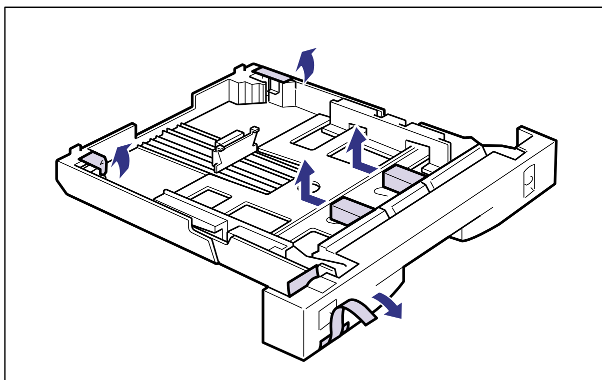


給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

9 テープを外し①、図に示すようにタグを引っ張って、給紙ローラを固定している梱包材を取り外します②。

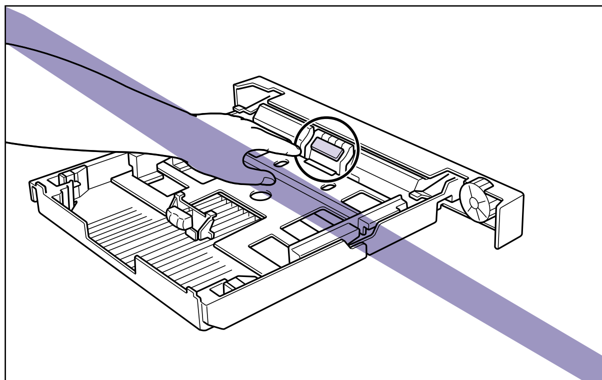


10 給紙カセットのテープや梱包材をすべて取り外します。

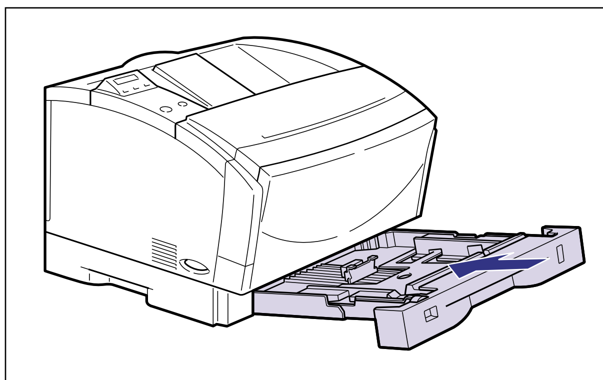


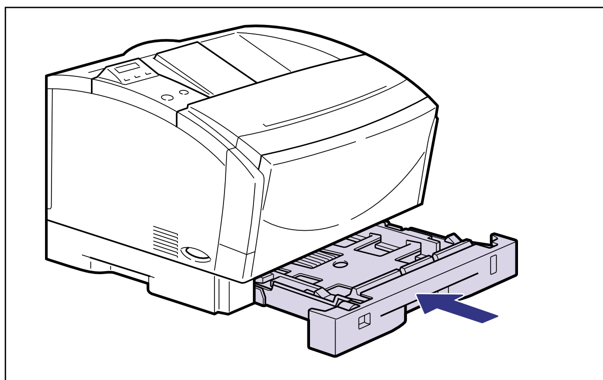


給紙カセットの分離パッドには触れないでください。給紙不良の原因になります。



11 給紙カセットを図のように斜めに差し込み、ゆっくりと水平に押し込んで取り付けます。





トナーカートリッジをセットする

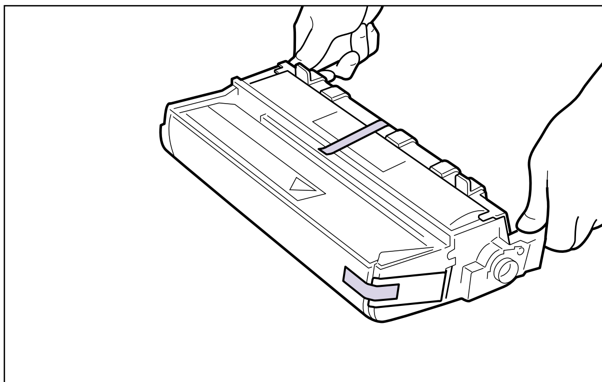
本プリンタは、工場出荷状態ではトナーカートリッジは取り付けられていません。梱包材を取り外したら、必ず同梱されているトナーカートリッジを取り付けてください。

トナーカートリッジは精密な機構の部品で構成されています。磁気や光に対して非常に敏感です。取り扱いを誤ると、内部の感光ドラムが劣化し、印字品質が低下します。

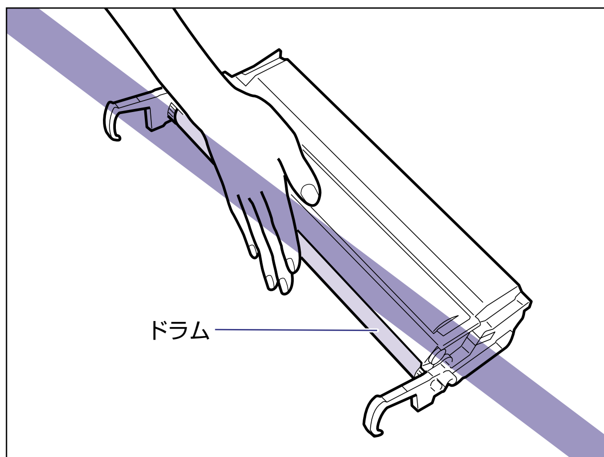
注意 トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要 トナーカートリッジを取り扱う際には、次の点に気を付けてください。

- 必ず本プリンタに付属のトナーカートリッジを使用してください。
- 新品のトナーカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないでください。
- 新品のトナーカートリッジに装着されている保護カバーは、取り外した後に再装着しないでください。ドラムを傷つけることがあります。
- トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように正しく持ち、必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。



・トナーカートリッジのドラムに手を触れたり、傷をつけたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたりしないでください。また、指示された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。

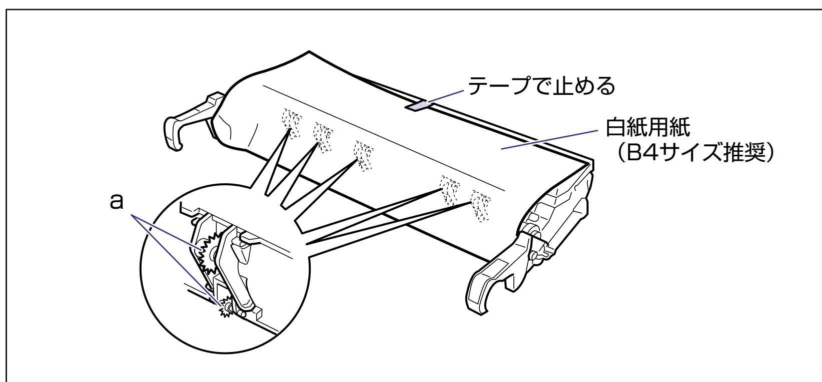


・トナーカートリッジは、絶対に直射日光や強い光に当てないでください。

・トナーカートリッジをディスプレイやパソコンなど、磁気を発生する装置に近づけないでください。

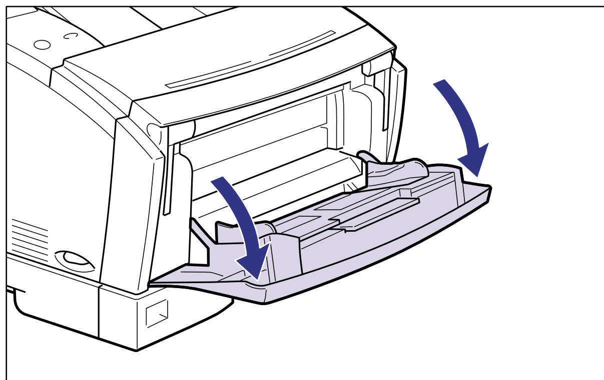
・トナーカートリッジは磁気製品です。フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品には近づけないでください。データ破損などの原因になることがあります。

・本体にセットするまでは保護袋から出さないでください。本体から取り外したときは、すみやかにトナーカートリッジが入っていた保護袋に入れるか、ドラムにほこりなどが付着するのを避けるため、図に示すようにトナーカートリッジに白紙用紙（B4サイズ推奨）を巻いてから、厚い布で包んでください。また、トナーカートリッジに白紙用紙を巻く際は、ドラムの上側に取り付けられている拍車状の部品（a）を破損しないように気を付けてください。

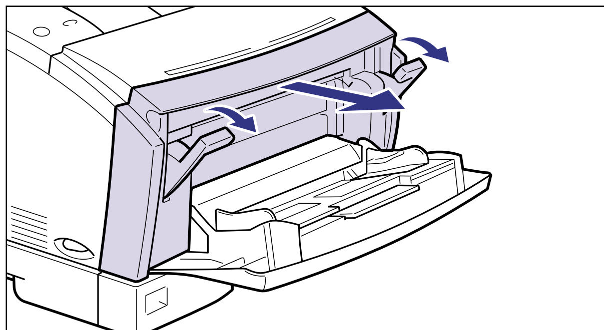


1 給紙トレイを開けます。

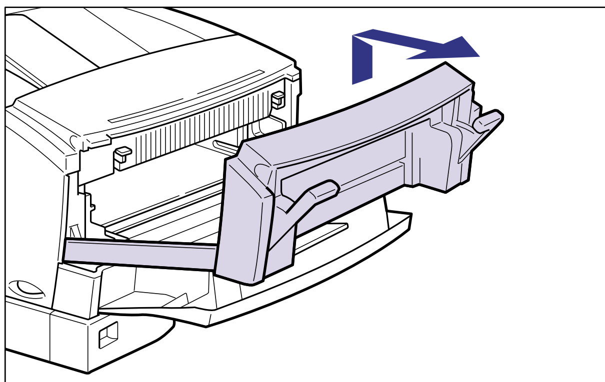
給紙トレイは、左右の取っ手を持ち、最後まで手をそえてゆっくりと開いてください。



2 左右の開閉レバーを下げて、前カバーを引き出します。

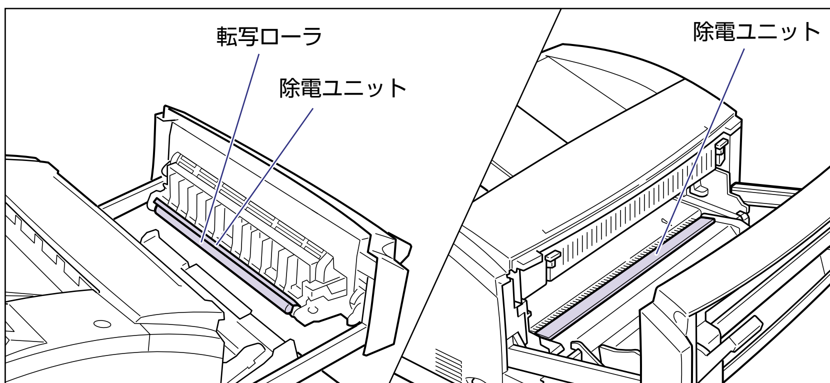


作業がしにくい場合は、前カバーを少し上に持ち上げると、取り外すことができます。



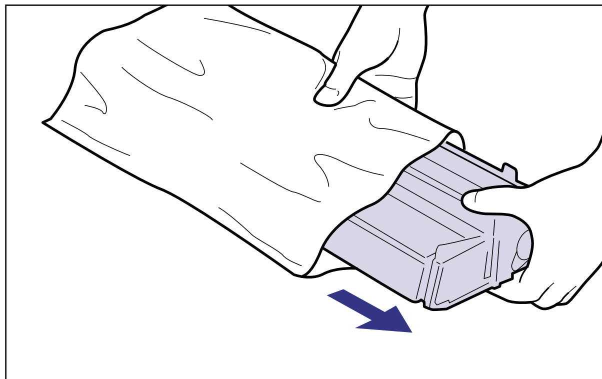
重要

- 取り外した前カバーは安全な場所に置いてください。
- 前カバー内側の転写ローラおよび除電ユニットには、絶対に手を触れないでください。印字品質が低下することがあります。



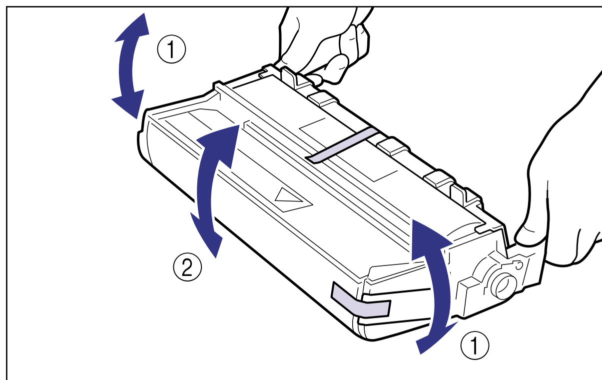
3 トナーカートリッジを保護袋から取り出します。

保護袋はトナーカートリッジを傷つけないように、はさみなどで切って開けます。



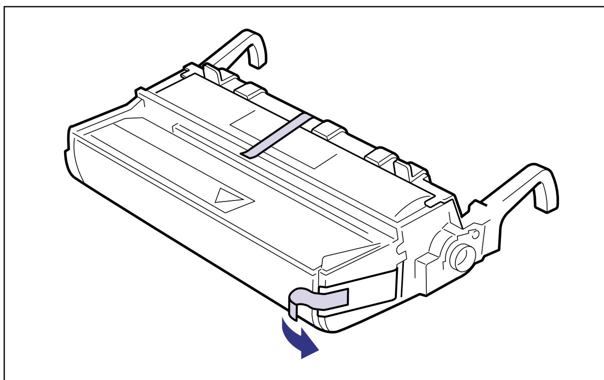
重要　トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。

4 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと左右に５～６回振り①、次に上下に５～６回振って内部のトナーを均一にならします②。

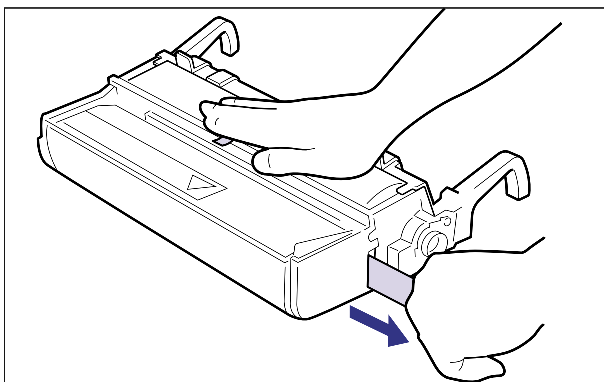


重要
- トナーが均一になっていないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。
- トナーカートリッジはゆっくり振ってください。ゆっくり振らないとトナーがこぼれることがあります。

5 トナーカートリッジを平らな場所に置き、シーリングテープを止めているテープを取り外します。



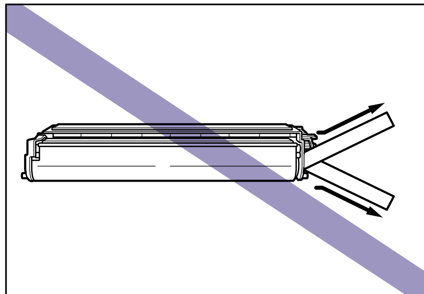
6 トナーカートリッジを押さえながら、シーリングテープ（長さ約60cm）をゆっくりとまっすぐ横（矢印の方向）に引き抜きます。



注意 シーリングテープを勢いよく引き抜いたり、途中で止めたりするとトナーが飛び散ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

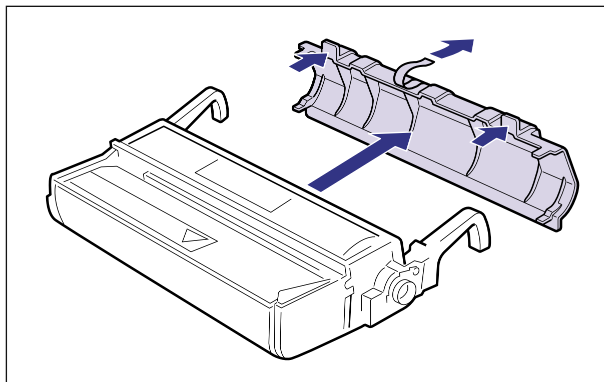
重要

- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。



- シーリングテープを最後まで完全に引き抜いてください。シーリングテープがカートリッジ内に残っていると、印字不良の原因になります。
- 引き抜いたシーリングテープは、地域の条例にしたがって処分してください。

7 保護カバーを止めているテープを取り外し、2 箇所のレバー部分を押して、トナーカートリッジの保護カバーを取り外します。

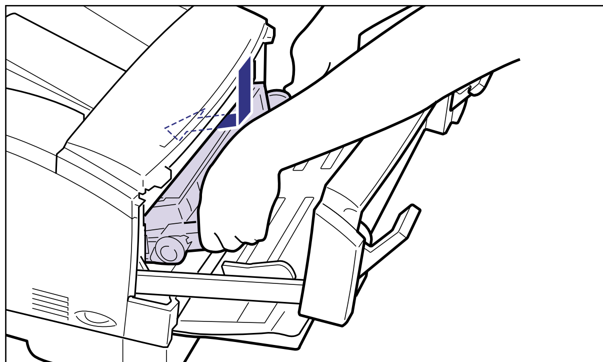


重要

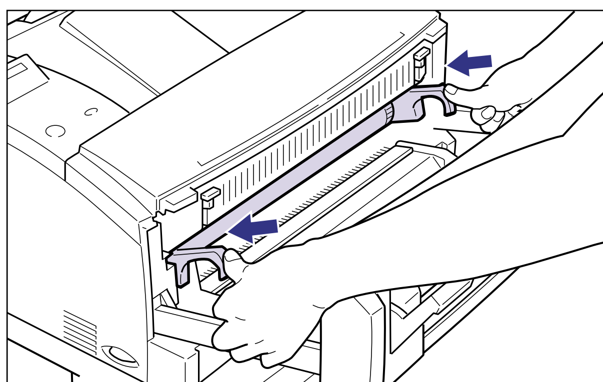
新品のトナーカートリッジに装着されている保護カバーは、取り外したあとに再装着しないでください。ドラムを傷つけることがあります。

8 トナーカートリッジを両手で持ち、本体に取り付けます。

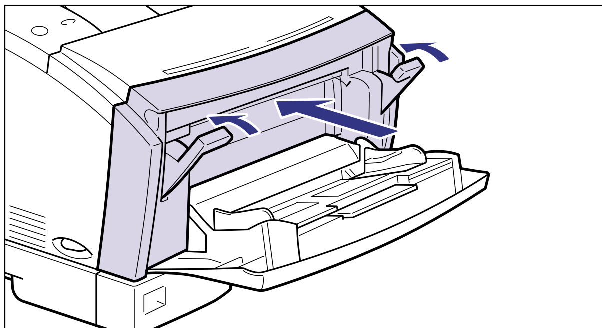
トナーカートリッジ両側の突起を本体内側のトナーカートリッジガイドに合わせて、図に示す位置までゆっくりと水平に押し込みます。



9 図のようにトナーカートリッジの取っ手を親指で押して、奥に突き当たるまでしっかりと押し込みます。

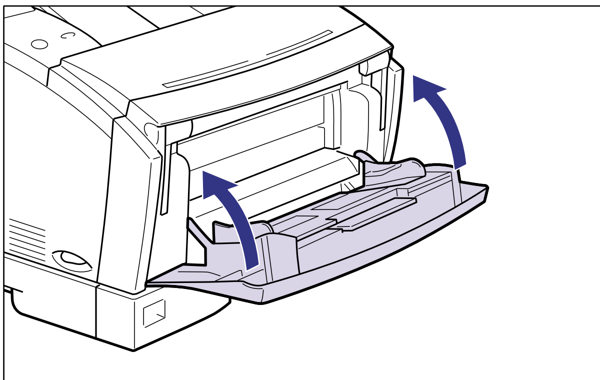


10 前カバーを閉じ、左右の開閉レバーを上げてロックします。



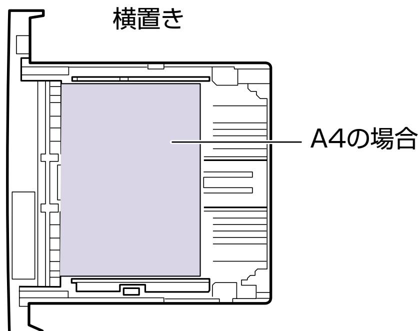
重要
- 前カバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理に前カバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けた後、前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。

11 給紙トレイを閉めます。

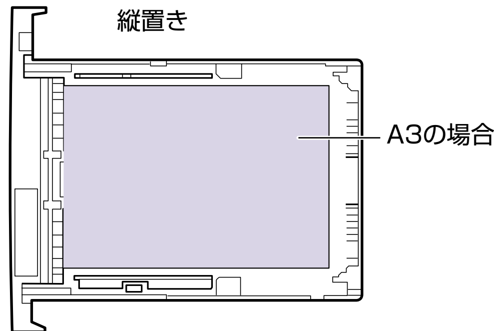


用紙をセットする

本プリンタの給紙カセットには、A5、B5、A4、A4R、B4、A3、エグゼクティブ、レター、リーガル、レジャーサイズの普通紙を約 250 枚（64g/m²）までセットできます。A4 サイズの用紙は通常横置きにセットしますが、縦置き（A4R）にもセットできます。また、ラベル用紙もセットできます。



・横置きできる用紙
A4、B5、A5、ラベル用紙、
エグゼクティブ、レター

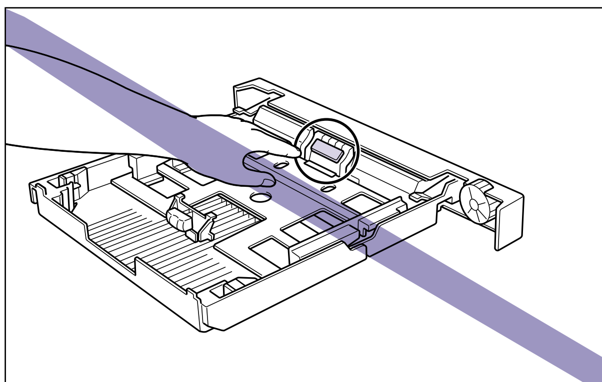


・縦置きできる用紙
A3、B4、A4R、リーガル、レジャー

重要

- プリント中に給紙カセットを抜き取らないでください。紙づまりや故障の原因となることがあります。
- 普通紙（64～90g/m²）、ラベル用紙以外の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因となることがあります。
- バリのある用紙、しわのある用紙やひどくカールした用紙はセットしないでください。紙づまりや故障の原因となることがあります。
- 給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙で約250枚（64g/m²）です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因になります。
- 使用できる用紙についての詳細は、ユーザーズガイド「第３章 給紙・排紙のしかた」を参照してください。
- 用紙はセットした用紙がすべてなくなってから補充してください。なくならないうちに補充すると給紙不良の原因になります。
- ラベル用紙は必ず給紙カセットにセットしてください。給紙トレイにセットすると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
- ラベル用紙にプリントするときは、必ずプリンタドライバの［給紙］ページの［用紙タイプ］を「普通紙」に設定してください。
- A4サイズの用紙が横置きと縦置きに別々の給紙元にセットされている場合、給紙元の選択が「自動」に設定されていると、横置きにセットされている給紙元が優先されます。縦置きにセットした給紙元から給紙したいときは、プリントする際にプリンタドライバで縦置きにセットした給紙元を選択してプリントしてください。

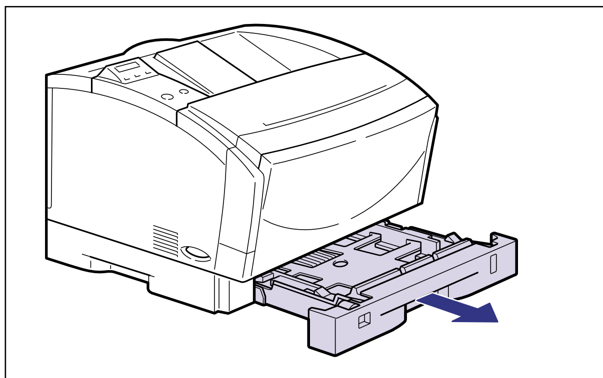
- 給紙カセットの分離パッドには触れないでください。給紙不良の原因になります。

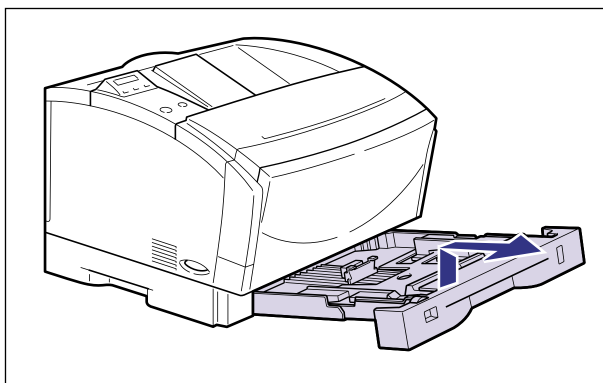


給紙カセットに用紙をセットする

トナーカートリッジを取り付けたら、給紙カセットに用紙をセットします。標準で装着されているカセット1、オプションのペーパーフィーダ装着時のカセット2、カセット3、カセット4共に、用紙のセット方法は同じです。次の手順にしたがって、正しく用紙をセットしてください。

1 **給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出し、手前側を持ち上げてプリンタ本体から取り外します。**



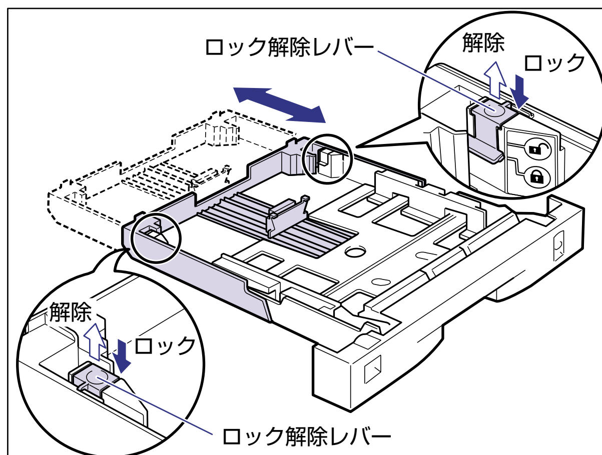




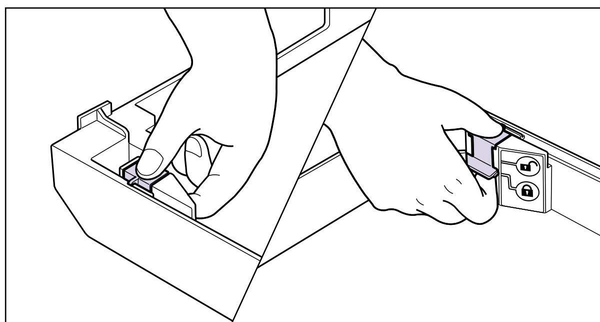
給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

2 セットする用紙に合わせて、延長カセットを調節します。

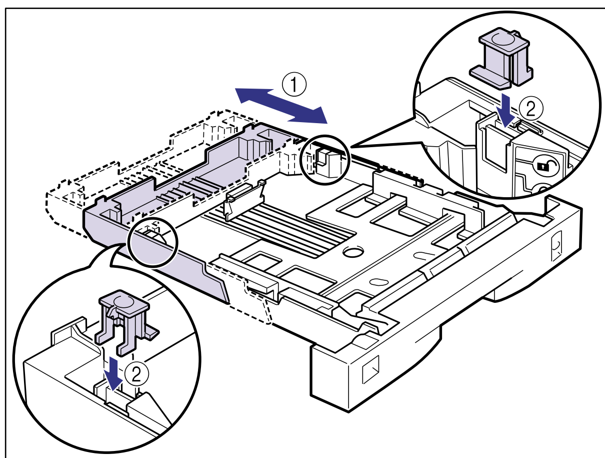
ロック解除レバーは、無理な力をかけずにゆっくりと持ち上げます。
ロック解除レバーは持ち上げると解除、押し下げるとロックします。
横送りの場合は延長カセットを押し込みます。
縦送りの場合は延長カセットを引き出します。



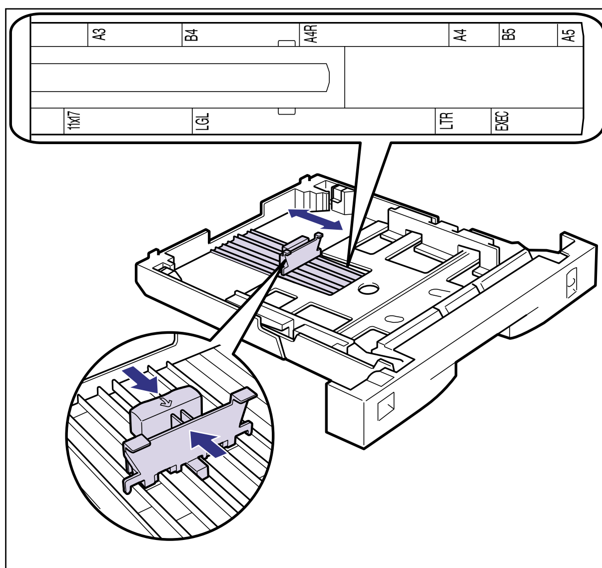
重要 • ロック解除レバーは、図のように持ちます。



- ロック解除レバーに無理に力を加えると、ロック解除レバーが外れることがあります。外れてしまった場合は、延長カセットをロックする位置からずらして①、ロック解除レバーを取り付けてください②。延長カセットをロックする位置ではロック解除レバーを取り付けることはできません。



3 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

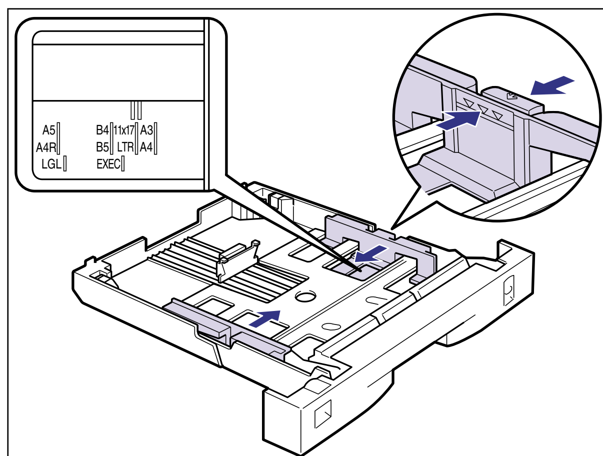




必ず用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っているかを確認してください。用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っていないと、給紙不良の原因となります。

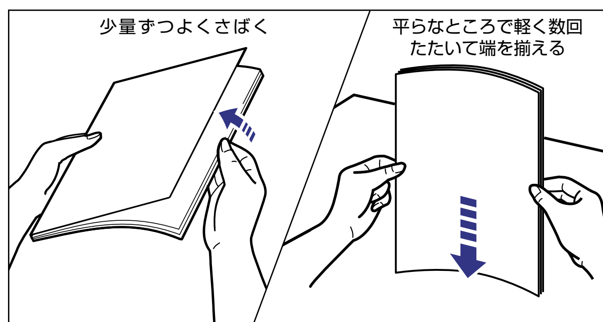
4 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。




必ず用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っているかを確認してください。用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っていないと、給紙不良の原因となります。

5 ラベル用紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。



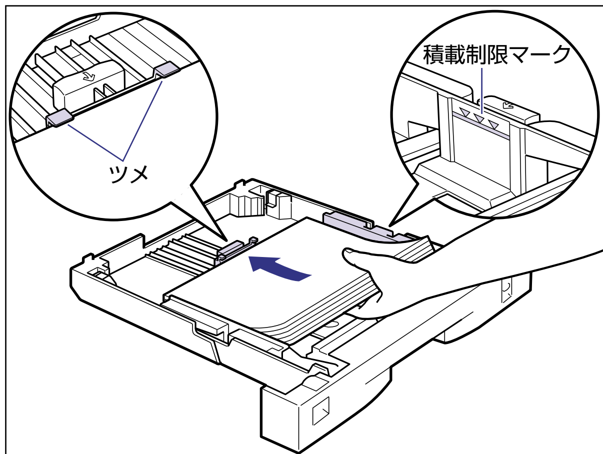
注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。




ラベル用紙は、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、重送されて、紙づまりの原因になります。

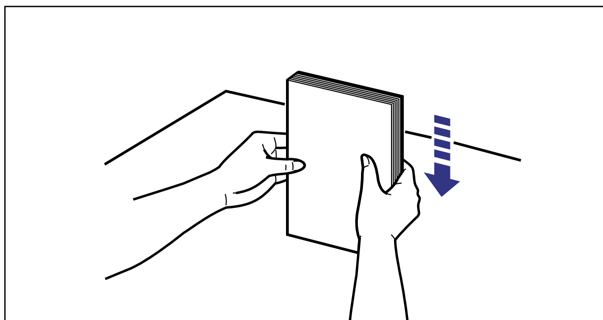
6 用紙の後端を、用紙ガイドに合わせてセットします。

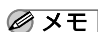
ツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分にない場合は、用紙を少し減らします。



注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

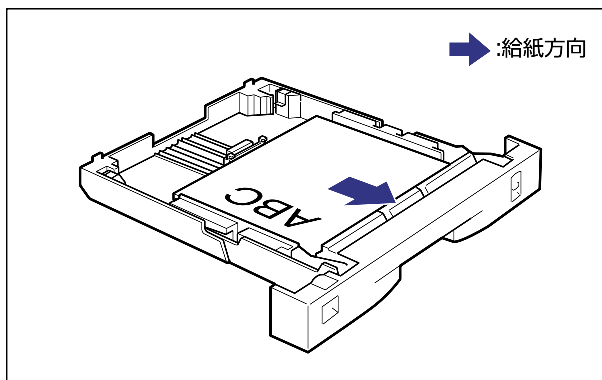
重要
- ラベル用紙と普通紙をいっしょにセットしないでください。普通紙がセットされている場合、ラベル用紙をセットするときは、普通紙をすべて取り除いてからラベル用紙をセットしてください。
- ラベル用紙は表裏を確認し、表を上にして給紙カセットへセットしてください。
- ラベル用紙をセットする場合は、必ず横送りにセットしてください。
- 給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙で約250枚（64g/m^2）です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因になります。
- 裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。



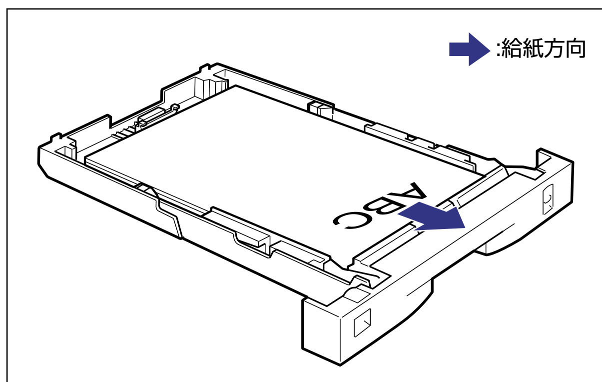


レターヘッドやロゴ付きの用紙などにプリントする場合は次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

・A4、レターサイズのように用紙を横送りでセットする場合は、用紙の表面（プリントする面）を上に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て左になるようにセットします。

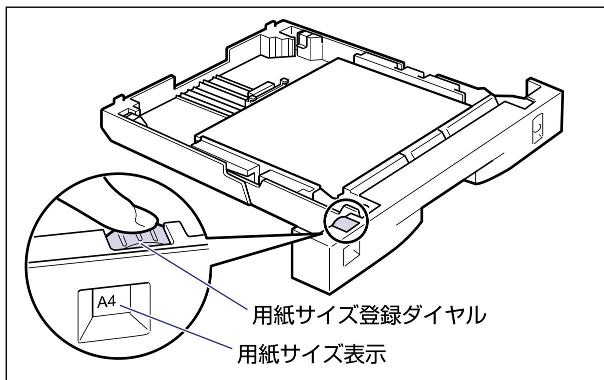


・A3、B4、レジャー、リーガルサイズのように用紙を縦送りでセットする場合は、用紙の表面（プリントする面）を上に向け、用紙の上端が手前になるようにセットします。



7 用紙サイズ登録ダイヤルを、セットした用紙のサイズに合わせます。

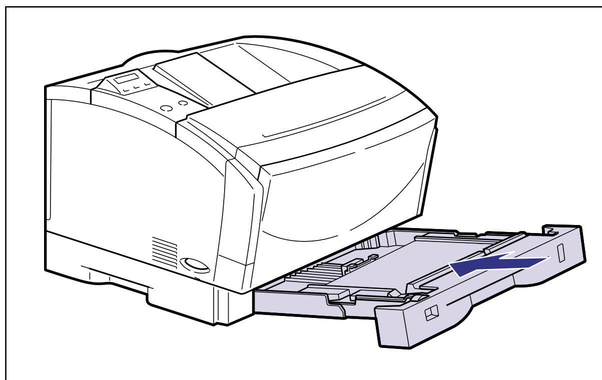
工場出荷時はA4にセットされています。

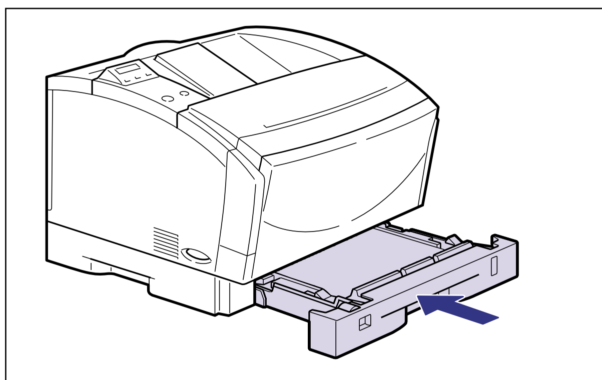




セットした用紙のサイズと用紙サイズ表示が合っていることを必ず確認してから給紙カセットをプリンタ本体に差し込んでください。表示が合っていないと、誤動作の原因になります。

8 給紙カセットを図のように斜めに差し込み、ゆっくりと水平に押し込んでプリンタ本体にセットします。



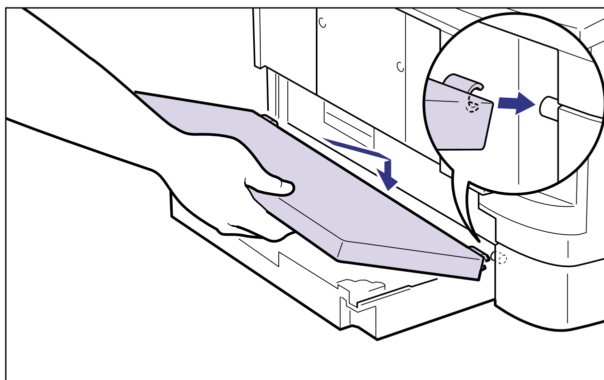




給紙カセットを取り付けるときは、床面などに接触しないようにしてください。床面などに接触すると用紙サイズ登録ダイヤルがずれることがあります。

9 延長カセットを引き出した場合は、本体背面にカセット保護カバーを取り付けます。

カセット保護カバーは、パチンと音がするまでしっかり取り付けます。

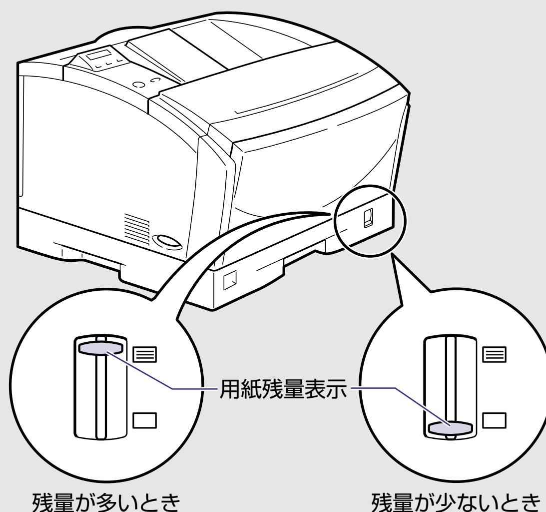




カセット保護カバーに手をかけたり、強く押したり、物を置いたりしないでください。カセット保護カバーが破損する恐れがあります。

●用紙残量表示について

給紙カセットには、セットされている用紙の量を示す用紙残量表示があります。用紙がいっぱいまで入っていると、用紙残量表示が上がります。用紙が減るにしたがって表示が下がってきますので、用紙の残量を知る目安になります。

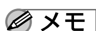


パソコンと接続する

本プリンタをパソコンやネットワークに、プリンタケーブルやネットワークケーブルで接続します。本プリンタは、双方向通信対応のパラレルコネクタ、USB コネクタを標準装備しています。



本プリンタにプリンタケーブルやネットワークケーブルは付属していません。あらかじめご使用のパソコンやネットワークに合ったケーブル（別売）をご用意ください。



本プリンタに付属のプリンタドライバやユーティリティソフトのインストール方法については、「LIPSソフトウェアガイド／本編」を参照してください。

2

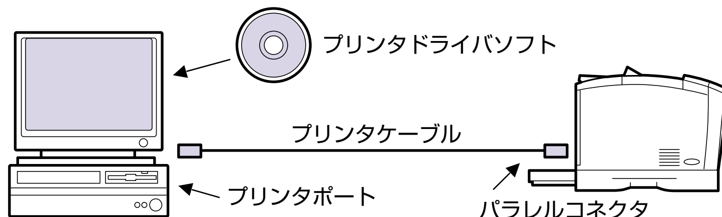
プリンタの設置

Windowsパソコンとの接続

本プリンタをWindowsパソコンに直接接続するときは、プリンタポート（パラレルインタフェース）またはUSBポートに接続します。

プリンタポートに接続する場合

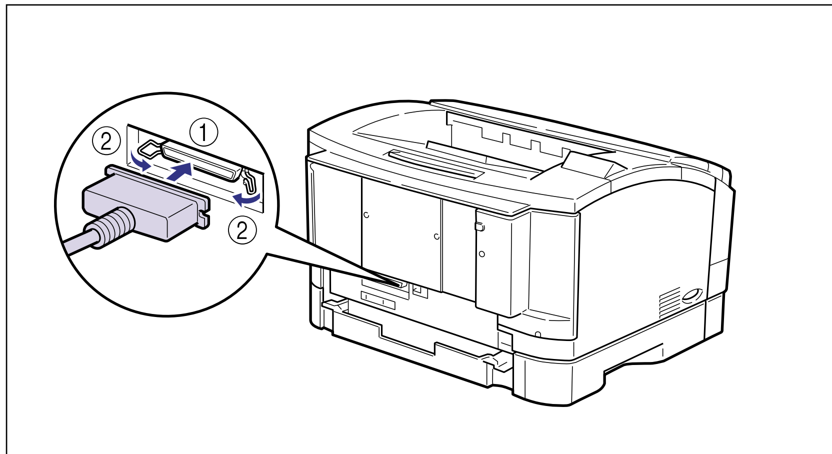
Windows パソコンのプリンタポートは、一般的にパラレルインタフェース（IEEE1284準拠）です。お使いのパソコン用のプリンタケーブルで本プリンタのパラレルコネクタとパソコンのプリンタポートを接続します。





プリンタケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因になることがあります。
①本プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
②パソコンの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

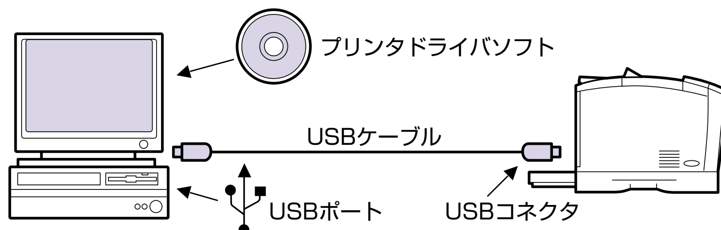
1 プリンタケーブルのセントロ 36 ピンコネクタ側を本プリンタ背面のパラレルコネクタへ接続し①、両側の留め金を掛けます②。



2 プリンタケーブルの反対側をパソコンのプリンタポートへ接続します。

USBポートに接続する場合

USB（ユニバーサル・シリアル・バス）ポートを装備したパソコンの場合は、USBケーブルで本プリンタ背面のUSBコネクタとパソコンのUSBポートを接続します。





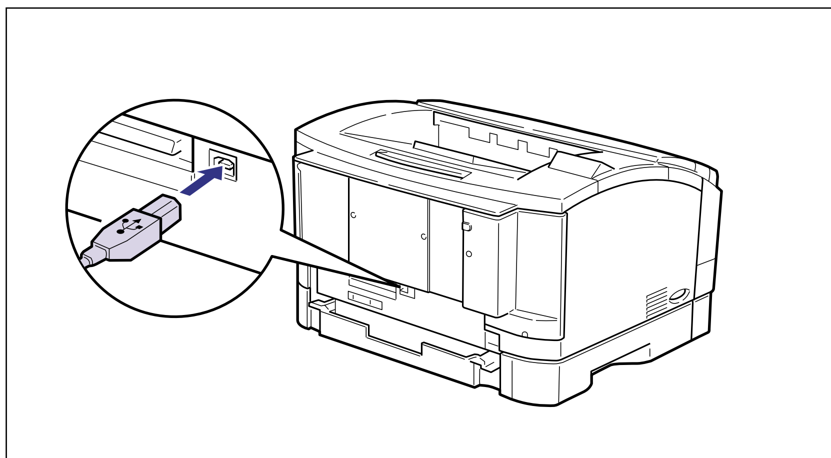
- 電源をオンにした状態でUSBケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源をオンにした状態でUSBケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。



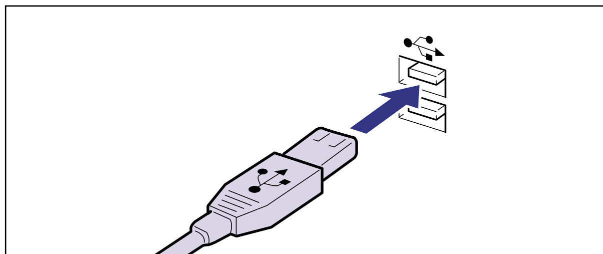
- 次のようなときは、USBケーブルを抜き差ししないでください。パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。
  - ・パソコンの電源を入れた後のOS（Windows）起動中
  - ・プリント中
- パソコンおよびプリンタの電源が入っている状態で USB ケーブルを抜き差しする場合は、抜いた後に必ず5秒以上の間隔を空けてから差し込んでください。抜いた直後に差し込むと、パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。

---

1 USBケーブルのBタイプ（四角い）側を本プリンタ背面のUSBコネクタへ接続します。



2 USBケーブルのAタイプ（平たい）側をパソコンのUSBポートへ接続します。

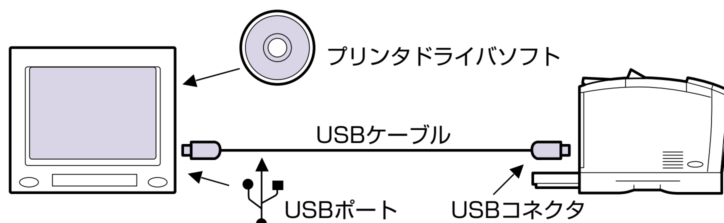


Macintoshパソコンとの接続

本プリンタをMacintoshに直接接続するときは、USBポートに接続します。

USBポートに接続する場合

USB（ユニバーサル・シリアル・バス）ポートを装備したMacintoshは、USBケーブルで本プリンタ背面のUSBコネクタとMacintoshのUSBポートを接続します。



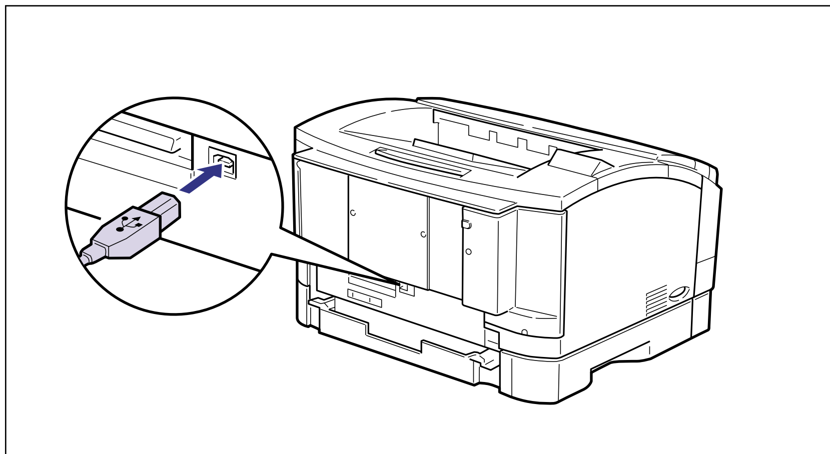
警告

- 電源をオンにした状態でUSBケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源をオンの状態でUSBケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

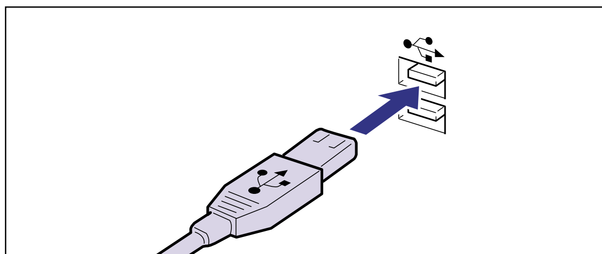
重要

- 次のようなときは、USBケーブルを抜き差ししないでください。パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。
  - ・プリンタドライバのインストール中
  - ・パソコンの電源を入れた後のOS（Mac OS）起動中
  - ・プリント中
- パソコンおよびプリンタの電源が入っている状態で USB ケーブルを抜き差しする場合は、抜いた後に必ず5秒以上の間隔を空けてから差し込んでください。抜いた直後に差し込むと、パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。

1 USBケーブルのBタイプ（四角い）側を本プリンタ背面のUSBコネクタへ接続します。

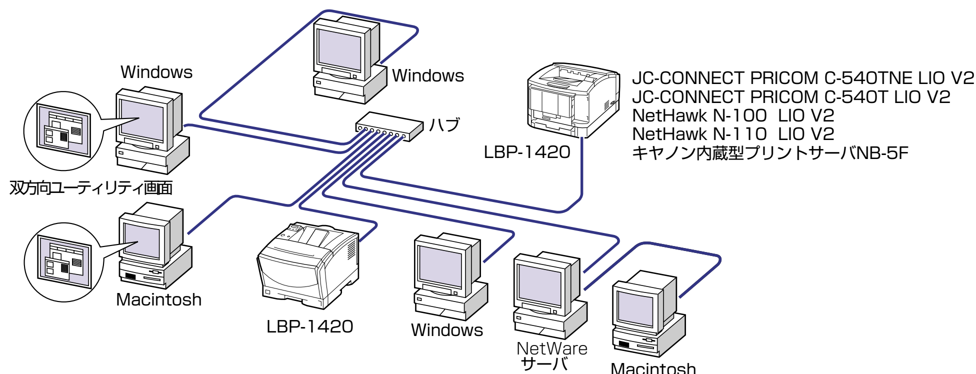


2 USBケーブルのAタイプ（平たい）側をMacintoshのUSBポートへ接続します。



ネットワークとの接続

本プリンタにオプションのプリントサーバを取り付けるとネットワークへ接続してWindows やMacintosh などのパソコンからプリンタを共有することができます。IPX/SPX、TCP/IP、Ethertalk、NetBIOS/NetBEUI のプロトコルに対応しているプリントサーバがあります。



オプションのプリントサーバには以下の種類があります。プリントサーバにより、対応OSやネットワークの種類が異なります。お使いのネットワークやパソコンに合わせてお選びください。

これらの製品の詳細や購入については、プリンタをお買い求めの販売店へお問い合わせください。

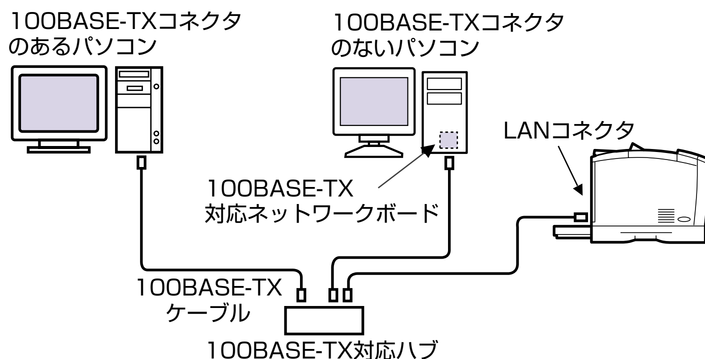
製品名称	対応プロトコル	インタフェース	メーカ名
JC-CONNECT PRICOM C-540TNE LIO V2	IPX/SPX, TCP/IP, EtherTalk, NetBEUI	10BASE-T 100BASE-TX	サイレックス・テクノロジー（株）
JC-CONNECT PRICOM C-540T LIO V2	TCP/IP, NetBEUI	10BASE-T 100BASE-TX	サイレックス・テクノロジー（株）
NetHawk N-100 LIO V2	TCP/IP, NetBEUI	10BASE-T 100BASE-TX	キヤノンイメージングシステムテクノロジーズ(株)
NetHawk N-110 LIO V2	IPX/SPX, TCP/IP, EtherTalk, NetBEUI	10BASE-T 100BASE-TX	キヤノンイメージングシステムテクノロジーズ(株)
キヤノン内蔵型プリントサーバ NB-5F	IPX/SPX, TCP/IP, EtherTalk, NetBEUI	10BASE-T 100BASE-TX	キヤノン（株）



本プリンタにプリントサーバを装着してネットワークに接続した場合、ネットワークOS（NetWare, UNIX など）の設定やネットワークプリンタとしてのインストール作業、プリントサーバの設定などが必要です。これらの作業についてはネットワークOSやプリントサーバに付属の取扱説明書を参照してください。

100BASE-TX接続の場合

本プリンタに取り付けたプリントサーバのLANコネクタとハブのポートを100BASE-TX対応LANケーブル（カテゴリ5用ツイストペアケーブル）で接続します。100BASE-TXのネットワークに対応していないパソコンの場合は、100BASE-TX対応のネットワークボードも必要になります。さらにネットワーク上のパソコンにはネットワーク管理ソフトをインストールして、プリントサーバの設定を行います。

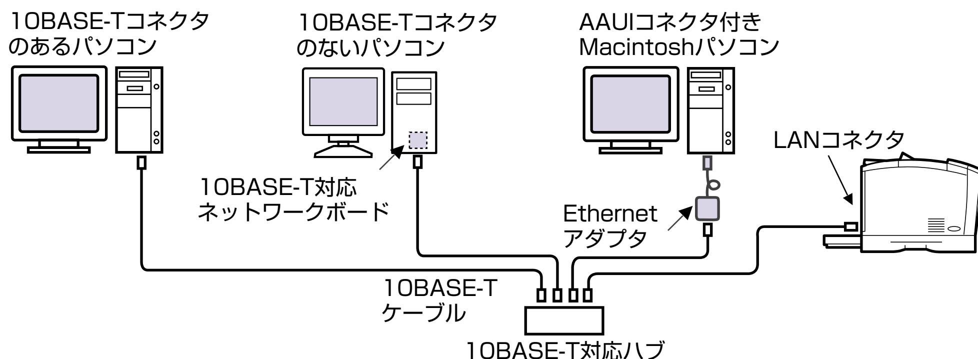




ハブやLANケーブル、パソコン用ネットワークボードなど、LANに接続している機器は、すべて100BASE-TXに対応しているものが必要になります。詳しくはお買い求めの販売店、または「お客様相談センター」へお問い合わせください。

10BASE-T接続の場合

本プリンタに取り付けたプリントサーバの LAN コネクタとハブのポートを 10BASE-T 対応 LAN ケーブル（カテゴリ３～５用ツイストペアケーブル）で接続します。ネットワークに対応していないパソコンの場合は、ネットワークボードも必要になります。さらにネットワーク上のパソコンにはネットワーク管理ソフトをインストールして、プリントサーバの設定を行います。



電源コードを接続する

パソコンとの接続が終わったら、電源コードとアース線を接続します。接続する際には「安全にお使いいただくために」(→P.viii) を必ずお読みください。

⚠警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 必ずアース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

  [アース線を接続してよいもの]

  ・電源コンセントのアース線端子

  ・接地工事(D種)が行われているアース線端子

  [アース線を接続してはいけないもの]

  ・水道管･･･配管の途中でプラスティックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアースを接続できます。

  ・ガス管･･･ガス爆発や火災の原因になります。

  ・電話線のアースや避雷針･･･落雷の時に大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。

  ・延長コードに延長コードの接続はしないでください。

  ・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル(製品背面に記載)に明示されている電圧になっているかを確認してください。

  ・延長コードは定格銘版ラベル(製品背面に記載)に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。

  ・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。

  ・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。

⚠注意

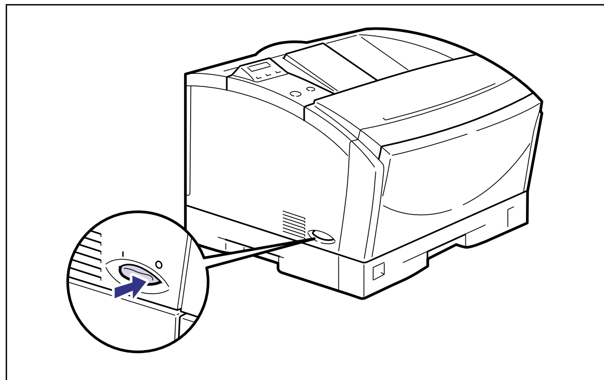
- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

重要

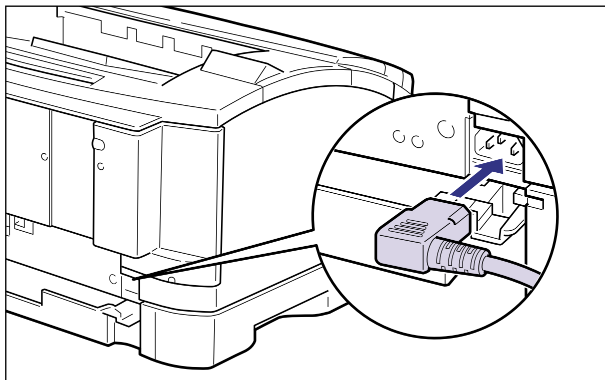
- アース線を接続するときは、プリンタ、パソコン双方とも接続してください。片方だけ接続すると機器間に電位差が生じ、故障の原因になることがあります。
- パソコン本体の補助コンセントに電源を接続しないでください。
- 一つは電源コンセントを本プリンタ専用にしてください。同一電源コンセント上の他の差込口は、使用しないでください。

1 プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認します。

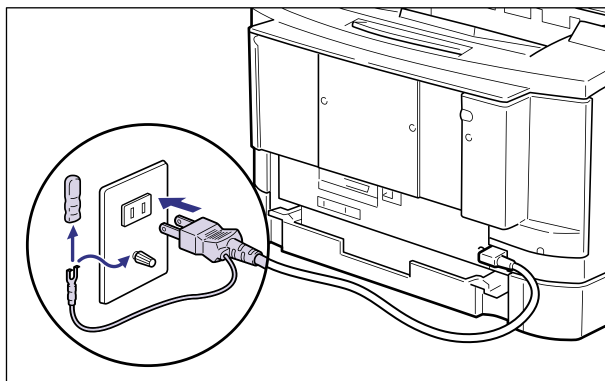
電源スイッチの“○”側を押した状態がオフです。



2 電源コード差し込み口に、付属の電源コードをしっかりと差し込みます。



3 アース線のキャップを外してアース線をアース線端子へ接続し、電源プラグを電源コンセントへ差し込みます。



警告 必ずアース線を接続してください。アース線を接続しないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

重要
- 取り外したキャップは、大切に保管してください。
- 電源コードを外した際は、アース線にキャップをして保管してください。

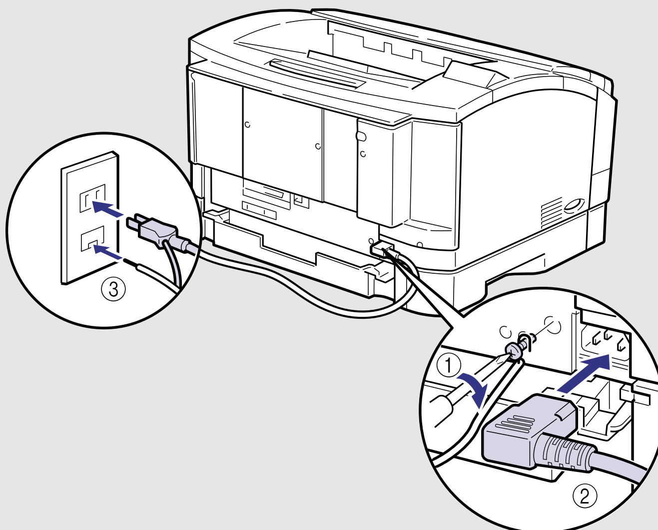
●アース線が電源コンセントのアース線端子に接続できないときは

電源コンセントのアース線端子の形状によっては、電源コードのアース線が接続できない場合があります。その場合は、市販のアース線を接続してください。

市販のアース線の接続は次の手順で接続してください。

1. アース線をプリンタ背面のアース線端子へ接続し ①、電源差し込み口に、付属の電源コードをしっかりと差し込みます ②。
2. アース線をアース線端子へ接続し、電源プラグを電源コンセントへ差し込みます ③。

市販のアース線を使用する場合は、プリンタに付属の電源コードのアース線にはは必ずキャップをしてください。



3

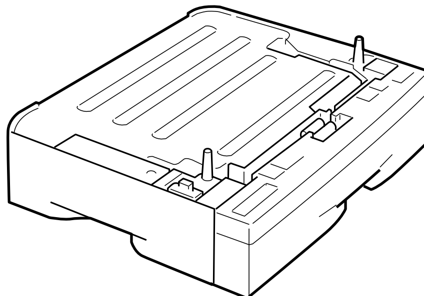
CHAPTER

オプション品の取り付け

この章では、オプション品の取り付けかたについて説明しています。

ペーパーフィーダ

ペーパーフィーダを設置する前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているかを確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。



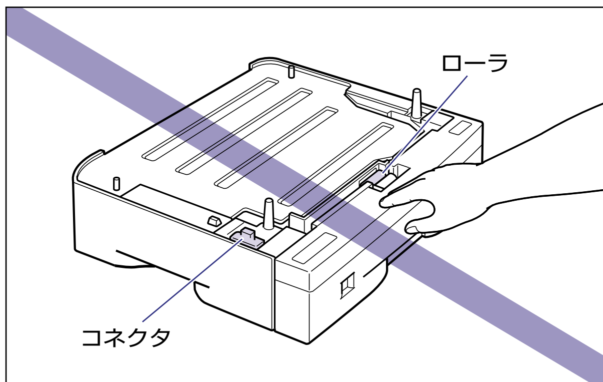
ペーパーフィーダユニット PF-65D


警告

ペーパーフィーダを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。


重要

ペーパーフィーダのコネクタやローラには触れないでください。故障や給紙不良の原因になります。




メモ

ペーパーフィーダは最大3台まで取り付けることができます。

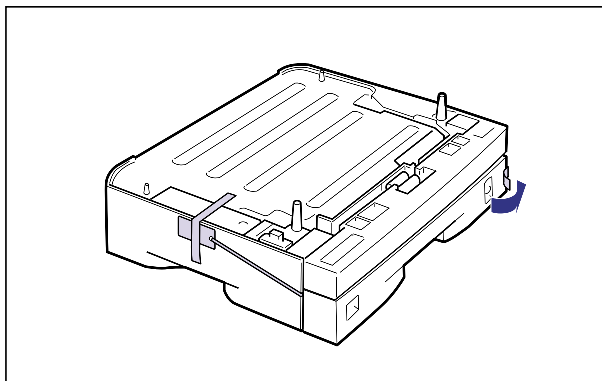
梱包材を取り外す

ペーパーフィーダをプリンタに取り付ける前に、ペーパーフィーダに取り付けられているテープや梱包材を取り外します。

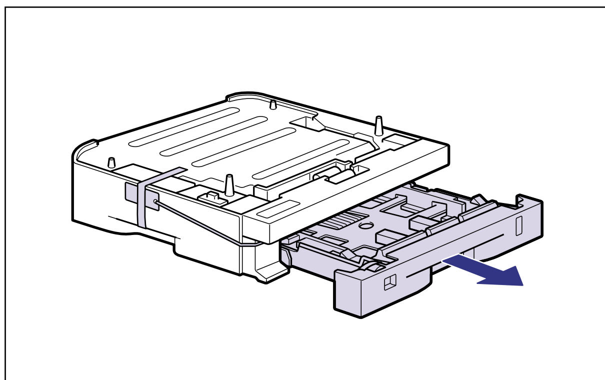


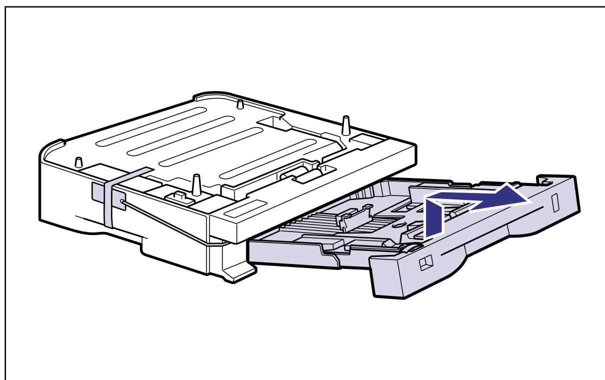
- ペーパーフィーダには輸送時の振動や衝撃から装置を守るために、テープや梱包材が取り付けられています。必ず梱包材を取り外してからご使用ください。
- ペーパーフィーダの運搬や修理の際には、梱包材が必要になりますので、大切に保管しておいてください。

1 給紙カセットを止めているテープを取り外します。



2 ペーパーフィーダの給紙カセットをゆっくりと止まる位置まで引き出し、手前側を持ち上げて取り外します。

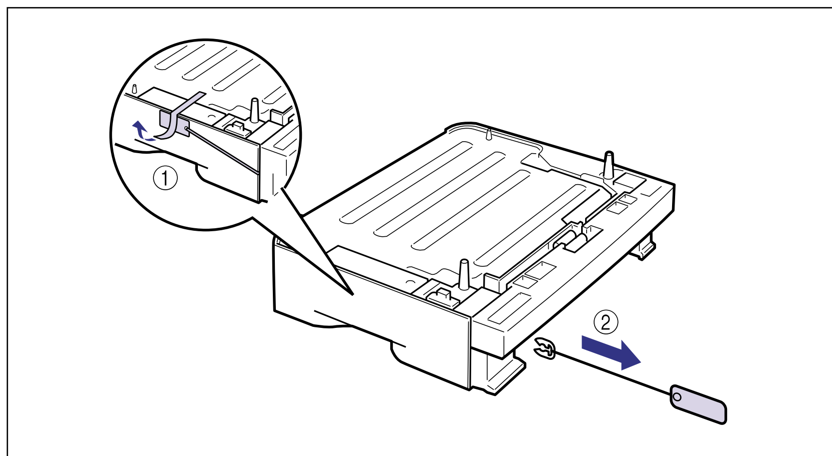




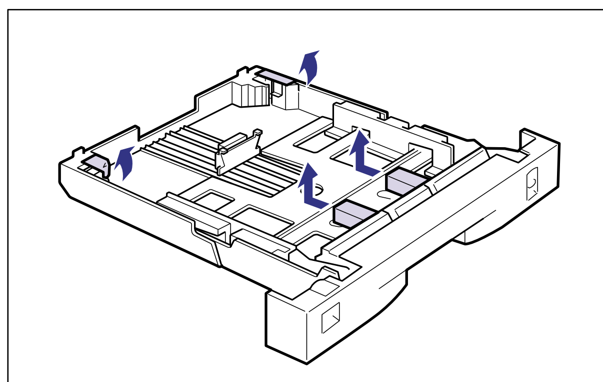


給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

3 テープを外し ①、図に示すようにタグを引っ張って、給紙ローラを固定している梱包材を取り外します ②。

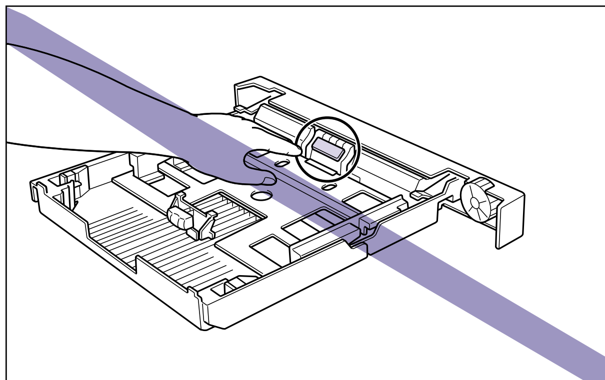


4 給紙カセットのテープや梱包材を取り外します。





給紙カセットの分離パッドには触れないでください。給紙不良の原因になります。



プリンタ本体を移動する

プリンタ設置後にペーパーフィーダを取り付けるときは、次の手順でプリンタをいったん適切な場所に移動させます。

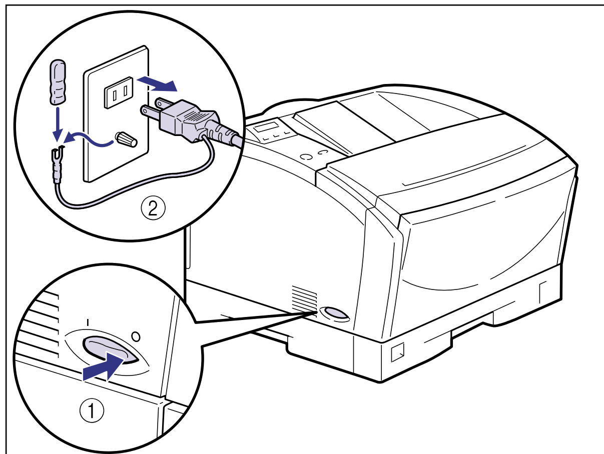


プリンタ本体を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災の原因になります。



ペーパーフィーダがすでに取り付けられている場合には、ペーパーフィーダをプリンタから取り外してください。（→ペーパーフィーダを取り外す：P.3-16）

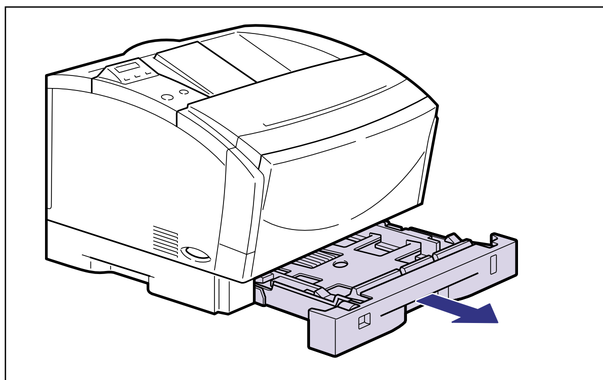
1 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし①、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線をアース線端子から取り外します②。

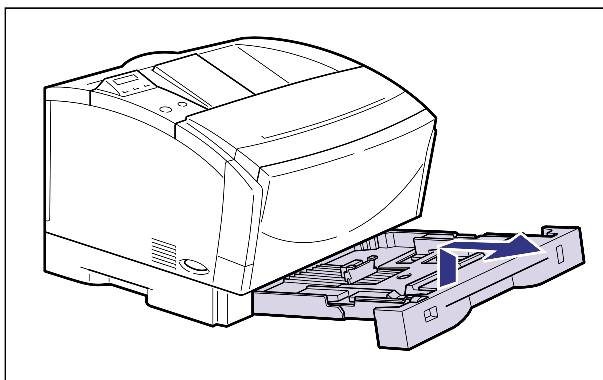


重要　電源コードを外した際は、アース線にキャップをして保管してください。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外します。

3 プリンタ本体の給紙カセットをゆっくりと止まる位置まで引き出し、手前側を持ち上げて取り外します。

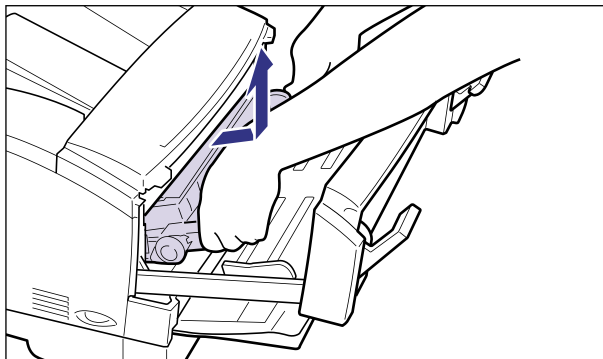




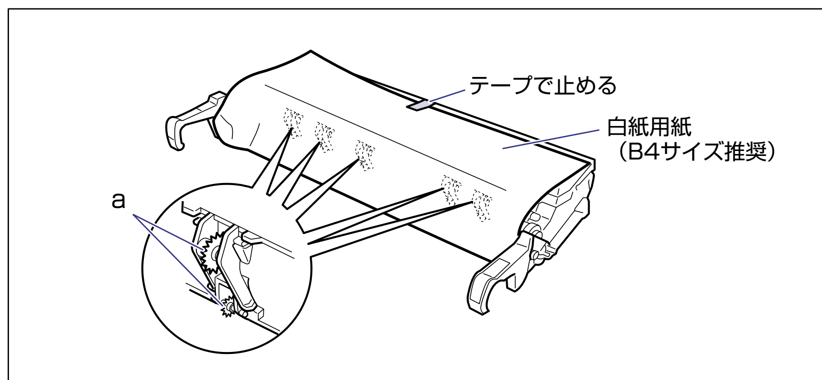
重要　給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

4 給紙トレイを開け、左右の開閉レバーを下げて、前カバーを引き出します。

5 トナーカートリッジ左右の取っ手を持ち、水平に引き抜いてトナーカートリッジを取り出します。



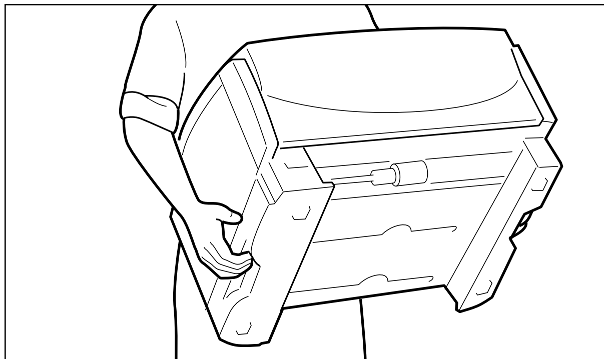
重要 取り出したトナーカートリッジは、トナーカートリッジが入っていた保護袋に入れるか、ドラムにほこりなどが付着するのを避けるため、図に示すようにトナーカートリッジに白紙用紙（B4 サイズ推奨）を巻いてから、厚い布で包んで移動先に持ち運んでください。また、トナーカートリッジに白紙用紙を巻く際は、ドラムの上側に取り付けられている拍車状の部品（a）を破損しないように気を付けてください。



6 前カバーを閉じ、左右の開閉レバーをロックし、給紙トレイを閉めます。

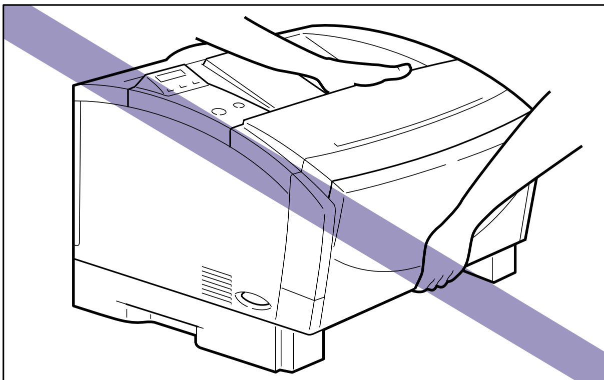
7 プリンタ本体を設置場所から移動します。

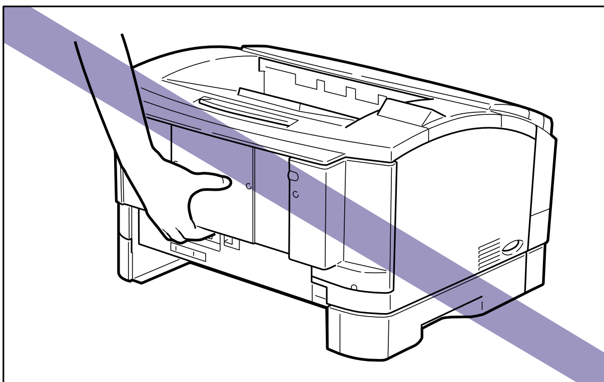
図のように本体の左右に手を掛け、しっかりと抱えて持ち運びます。



注意

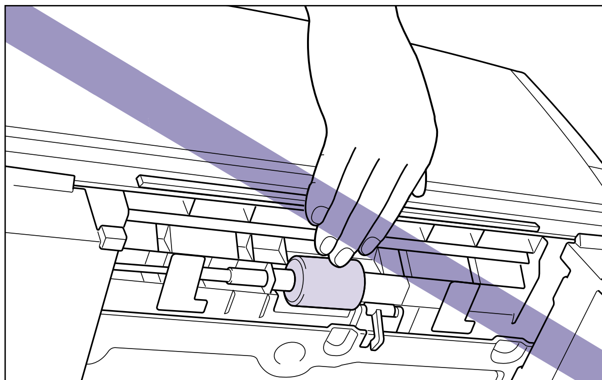
- 本プリンタは、給紙カセット、トナーカートリッジを取り付けていない状態で約 13.6kg あります。腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に、給紙トレイなど、指定以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。





重要

- 必ず給紙カセット、トナーカートリッジを取り外し、給紙トレイが閉まっていることを確認してから持ち運んでください。
- 給紙トレイには絶対に手を掛けないでください。給紙トレイが破損することがあります。
- 給紙ローラには絶対に手を触れないでください。給紙不良の原因になることがあります。



ペーパーフィーダを取り付ける

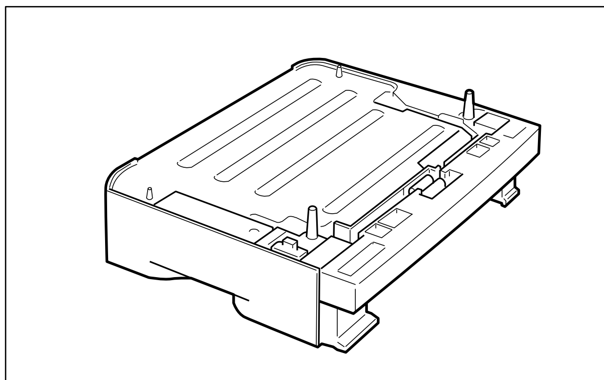
ペーパーフィーダは、プリンタ本体の下に取り付けます。

注意 プリンタやペーパーフィーダはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

重要 ペーパーフィーダを装着した場合、給紙するペーパーフィーダ（カセット2、カセット3、カセット4）より上段の給紙カセットは必ずセットした状態で使用してください。給紙カセットがセットされていないと、下段の給紙元から給紙することができません。（たとえば、カセット2がセットされていない場合、カセット3、カセット4から給紙することはできません。）

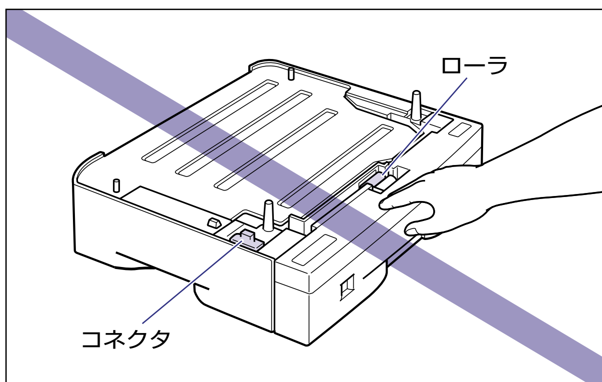
1 ペーパーフィーダを設置場所へ置きます。

ペーパーフィーダを持ち運ぶときは、両手で左右に手を掛け、運びます。



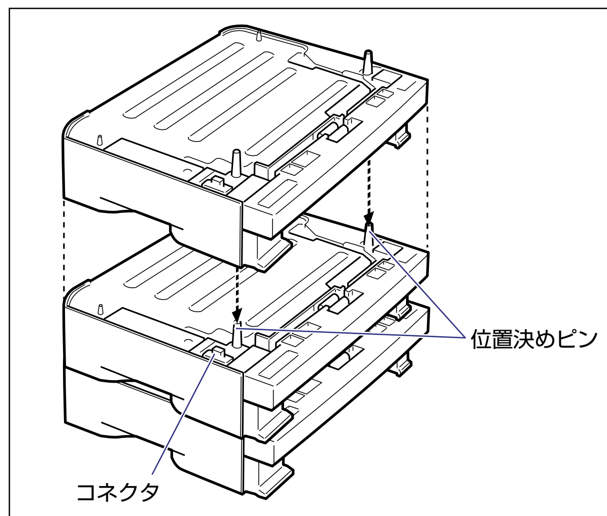


- ペーパーフィーダのコネクタやローラには触れないでください。故障や給紙不良の原因になります。

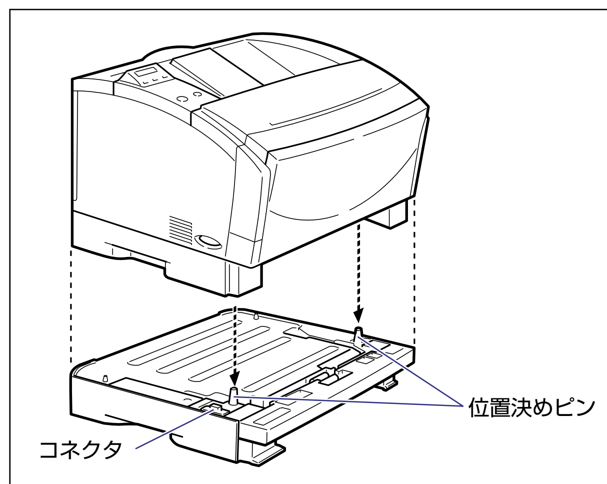


- 本プリンタおよびオプション品の質量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）には設置しないでください。
- プリンタ本体を載せたり、電源コードやインタフェースケーブルなどの接続作業ができるように、周囲に十分なスペースを確保しておいてください。

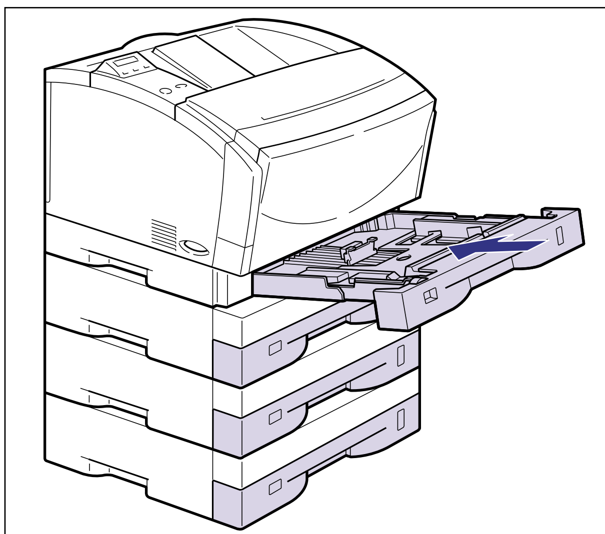
2 ペーパーフィーダとペーパーフィーダを取り付けるときは、ペーパーフィーダの位置決めピンやコネクタに合わせてゆっくりと載せます。

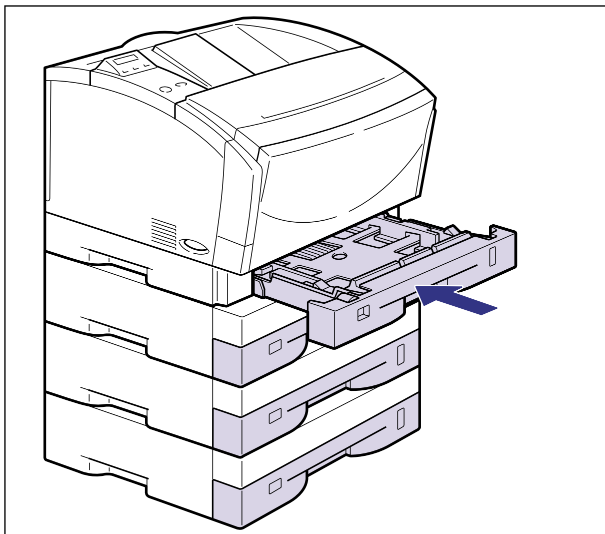


3 プリンタ本体をペーパーフィーダの位置決めピンやコネクタに合わせてゆっくりと載せます。



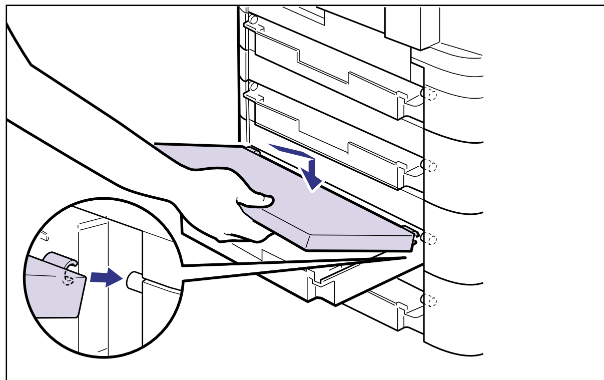
4 ペーパーフィーダやプリンタ本体の給紙カセットを図のように斜めに差し込み、ゆっくりと水平に押し込んで取り付けます。





5 必要に応じて、本プリンタに付属のカセット保護カバーを背面に取り付けます。

カセット保護カバーは、パチンと音がするまでしっかり取り付けます。



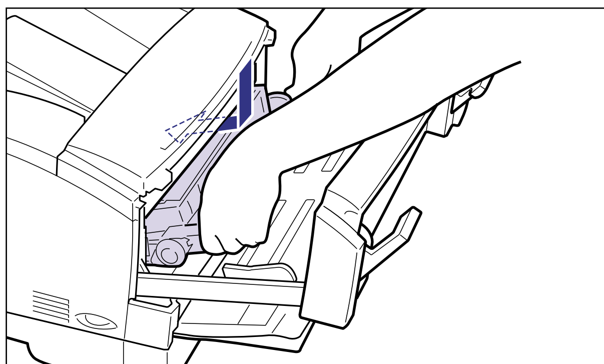
 カセット保護カバーに手をかけたり、強く押したり、物を置いたりしないでください。カセット保護カバーが破損する恐れがあります。

 カセット保護カバーは、プリンタ本体およびペーパーフィーダの背面に取り付けることができます。適切な位置に取り付けてください。

6 給紙トレイを開け、左右の開閉レバーを下げて、前カバーを引き出します。

7 トナーカートリッジを両手で持ち、本体に取り付けます。

トナーカートリッジ両側の突起を本体内側のトナーカートリッジガイドに合わせて、図に示す位置までゆっくりと水平に押し込みます。



3

オプション品の取り付け

8 前カバーを閉じ、左右の開閉レバーをロックし、給紙トレイを閉めます。

9 すべてのインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

10 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。


ペーパーフィーダを装着した後は、プリンタドライバの［デバイスの設定］ページでオプション機器の設定が必要になります。［デバイスの設定］ページの［デバイス情報取得］ボタンをクリックすると、プリンタのオプション情報が自動的に取得できます。

ペーパーフィーダを取り外す

ペーパーフィーダの取り外しは、次の手順で行います。


ペーパーフィーダを取り外すときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。


プリンタの移動や修理の際は、ペーパーフィーダや給紙カセット、トナーカートリッジを取り外してください。

1 電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから、アース線をアース線端子から取り外します。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外します。

3 給紙カセットをすべて取り外します。

4 トナーカートリッジ左右の取っ手を持ち、水平に引き抜いてトナーカートリッジを取り出します。

5 プリンタを持ち上げて、ペーパーフィーダから取り外します。

6 ペーパーフィーダを移動します。

7 プリンタ本体を設置場所へ戻します。

8 給紙カセットを取り付けます。

9 トナーカートリッジを両手で持ち、本体に取り付けます。

10 すべてのインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

11 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

RAM

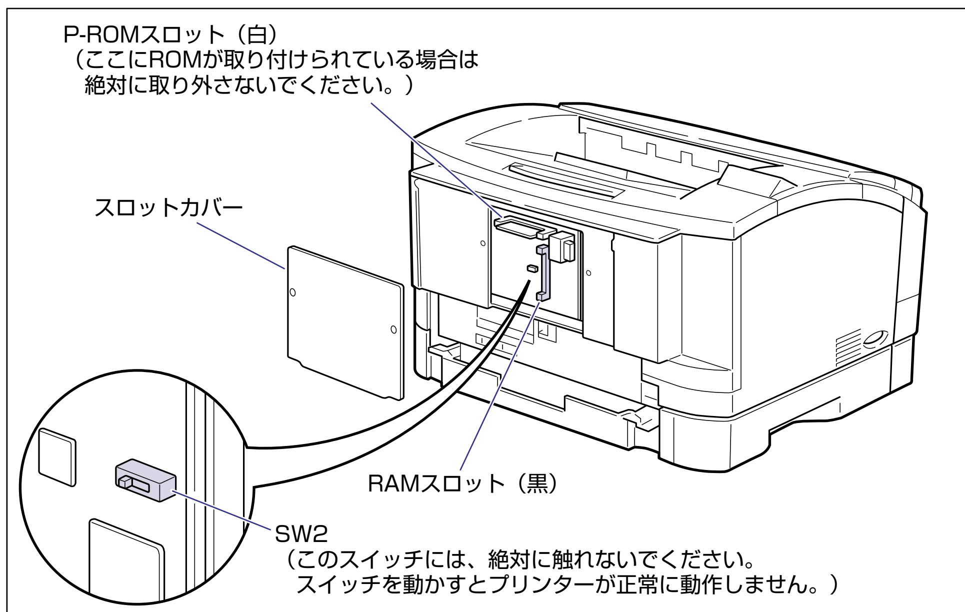
拡張RAMは、プリンタ本体内部のメインボードに取り付けて使用します。取り付けたあと、必要に応じてRAMを設定します。以下のことに気を付けてRAMの取り付けを行ってください。

注意
- RAMを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
- RAMの取り扱いには注意してください。RAMの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

重要
- P-ROM用スロット(白)に取り付けられているROMは絶対に取り外さないでください。プリンタが使用できなくなります。
- RAMには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。
  - ・一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業をしてください。
  - ・作業中にディスプレイなどの静電気を発生しやすいものに触れないでください。
  - ・メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - ・静電気の影響を避けるために、RAMは取り付ける直前まで袋から取り出さないでください。
- メインボードにあるスイッチには絶対に触れないでください。スイッチを動かすとプリンタが正常に動作しません。

RAMの取り付け位置について

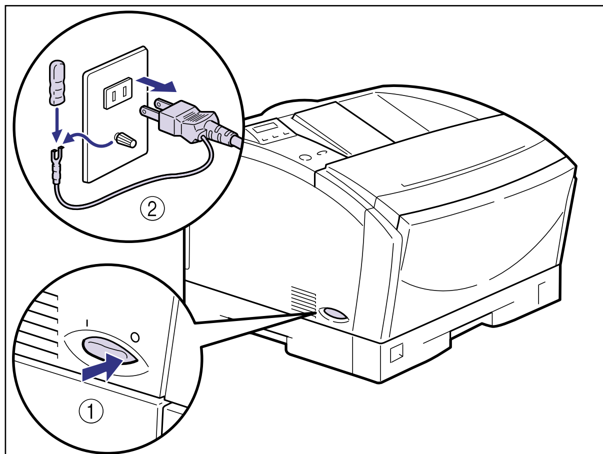
RAMの取り付け位置は以下のようになっています。



RAMを取り付ける

RAM は次の手順でプリンタ背面の拡張 RAM スロットへ取り付けます。スロットカバーの取り外しにはプラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 **電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし①、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線をアース線端子から取り外します②。**

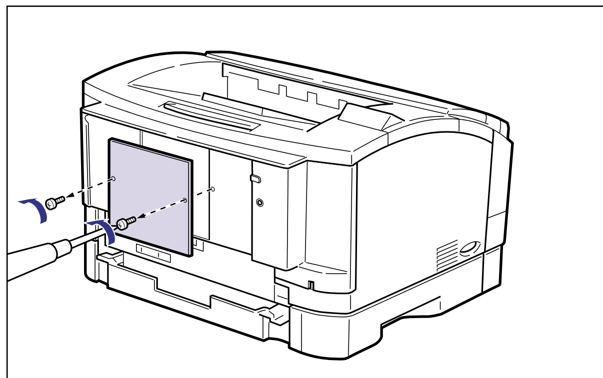


重要　電源コードを外した際は、アース線にキャップをして保管してください。

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外します。**

作業スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

3 プリンタ背面の2本のネジを取り外し、スロットカバーを取り外します。

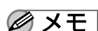




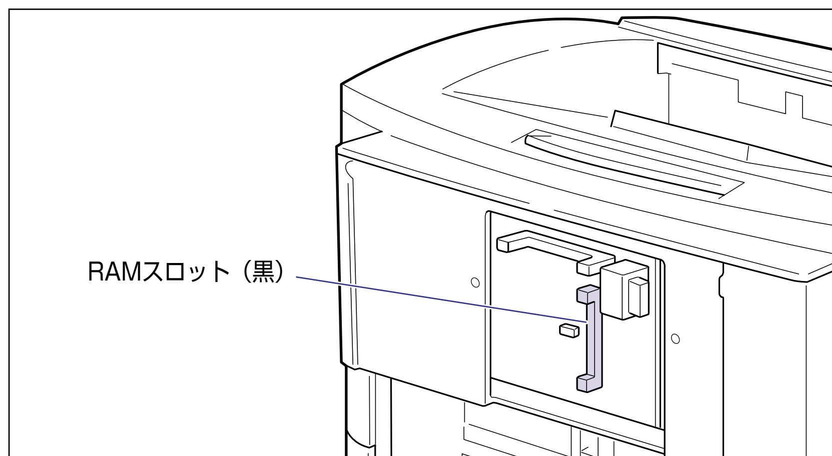
警告 製品内部には、高圧になる部分があります。スロットカバーを取り外したり取り付けたりするときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように注意してください。感電の原因になります。



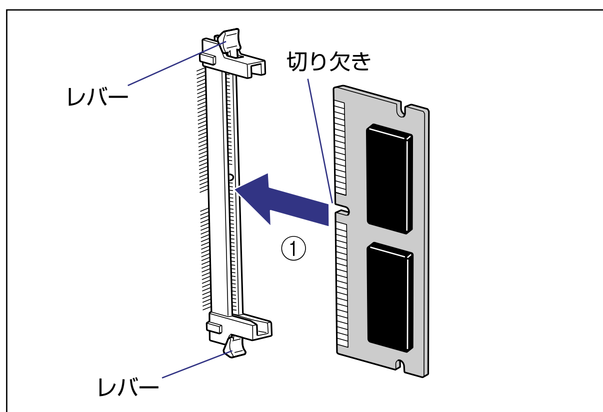
重要
- スロットカバーを落下させないように手で支えながら作業してください。
- 指示以外のネジは取り外さないでください。
- メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように気をつけてください。

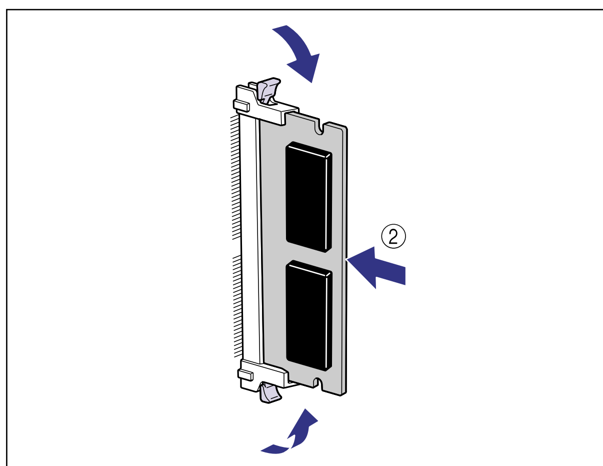


メモ RAM の取り付ける位置は以下のとおりです。取り付け位置を確認してから RAM を取り付けてください。



4 黒いRAMスロットへ図のように切り欠きに合わせて差し込み①、奥までしっかりと押し込みます②。

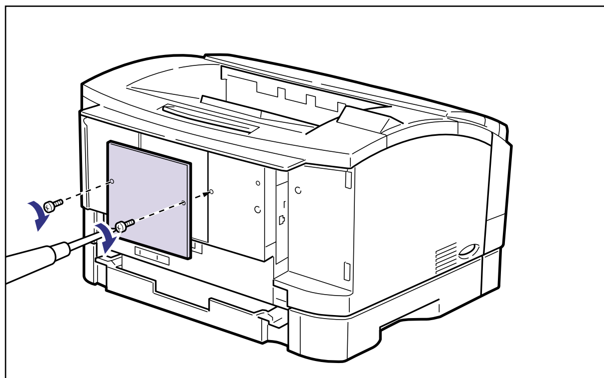




RAMが正しく取り付けられると、左右のレバーでロックされます。

注意 メインボード上の部品やRAMの角でけがをしないように、注意してください。

5 スロットカバーをネジで固定します。



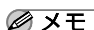
6 すべてのインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

7 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

RAMの設定について

RAMを取り付けた後は、必要に応じて次の設定を行ってください。

拡張RAM → 必要に応じてメニューの印字調整グループの設定を行ってください。


プリンタドライバの［デバイスの設定］ページでオプション機器の設定が必要になります。［デバイスの設定］ページの［デバイス情報取得］をクリックすると、プリンタのオプション情報が自動的に取得できます。

RAMを取り外す

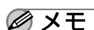
RAMは、プリンタ本体のスロットカバーを取り外してから次の手順で取り外します。


製品内部には、高圧になる部分があります。スロットカバーを取り外したり取り付けたりするときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように注意してください。感電の原因になります。



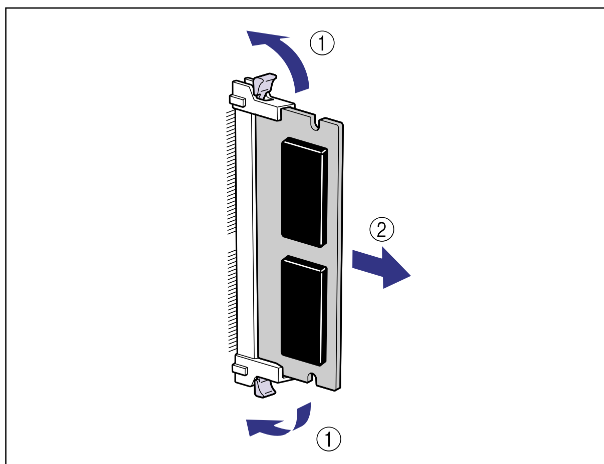
- RAMを取り外すときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
- RAMの取り扱いには注意してください。RAMの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。


RAMを取り外すときは、必ずプリンタの電源をオフにして電源コードやインタフェースケーブルを取り外し、作業しやすい場所へ移動して作業を行ってください。


スロットカバーの取り外しや取り付け手順は「RAMを取り付ける」（→P.3-20）を参照してください。

■ RAMの取り外しかた

RAMスロット左右のレバーを同時に矢印の方向へ引くと①、RAMが外れます②。



プリントサーバ

プリントサーバは、プリンタ背面の拡張ボードスロットへ取り付けます。プリントサーバの詳細については、プリントサーバの取扱説明書を参照してください。
ここでは、プリントサーバ NB-5F を例にしています。

注意
- **プリントサーバを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。**
- **プリントサーバの取り扱いには注意してください。プリントサーバの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。**

重要
- プリントサーバには、静電気に敏感な部品が使用されています。このため、プリントサーバを不用意に取り扱うと、静電気によって部品を破損し、動作不良などのトラブルの原因となることがあります。取り扱いに当たっては次のことをお守りください。
  - ・一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業をしてください。
  - ・作業中にディスプレイなど静電気を発生しやすいものに触れないでください。
  - ・プリントサーバの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - ・静電気の影響を避けるために、プリントサーバは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。また、保護袋はプリントサーバを取り外すときに必要になります。捨てないで保管しておいてください。
- プリントサーバNB-5Fを取り付けたプリンタがAppleTalkネットワーク上に2台以上接続されている場合、それぞれのプリンタの電源は10秒以上間隔をおいてオンにしてください。

ケーブルやコネクタの準備

本プリントサーバをプリンタに取り付け、ネットワークに接続して使用する場合、ネットワークの種類に応じて次のようなケーブルやコネクタが必要です。あらかじめこれらのケーブルやコネクタを準備してから作業を行ってください。

■ ツイストペアLANケーブル

接続するネットワークに合わせて、10BASE-Tまたは100BASE-TX対応のネットワークケーブル（両端にRJ-45コネクタが付いたより対線）をご用意ください。

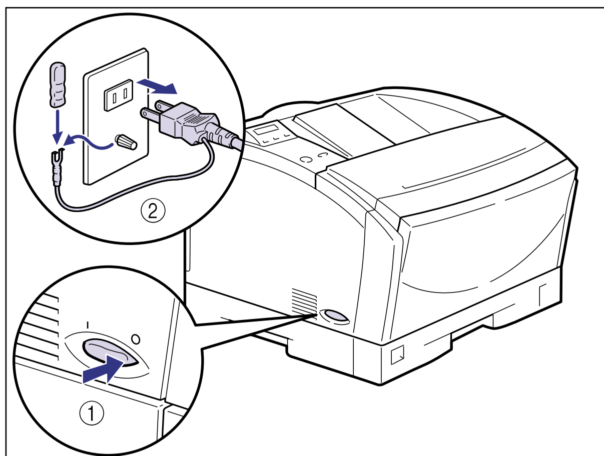
■ ハブ

プリンタを接続するハブの空きポートを確認してください。空きポートがない場合、ハブの増設が必要になります。

プリントサーバを取り付ける

プリントサーバは、次の手順でプリンタ背面の拡張ボードスロットへ取り付けます。プリントサーバの取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 **電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし①、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線をアース線端子から取り外します②。**

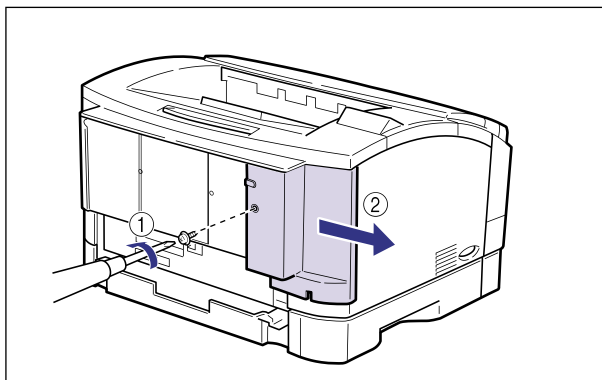


重要 電源コードを外した際は、アース線にキャップをして保管してください。

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外します。**

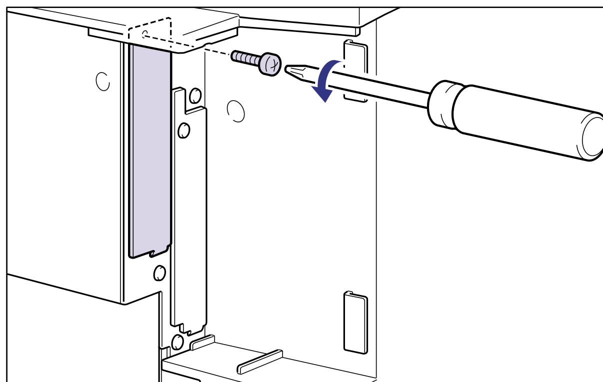
作業スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

3 プリンタ背面のネジを取り外し ①、拡張ボードスロットカバーを取り外します ②。



重要　指示以外のネジは取り外さないでください。

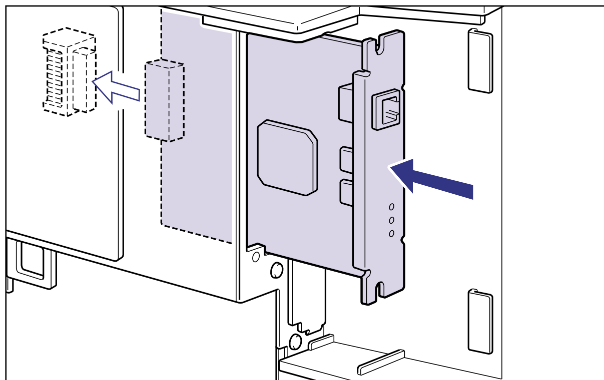
4 拡張ボードスロットのネジを取り外して、保護板を取り外します。



重要
- 取り外した保護板とネジは、プリントサーバを外したときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。
- 指示以外のネジは取り外さないでください。

5 プリントサーバを拡張ボードスロットに差し込みます。

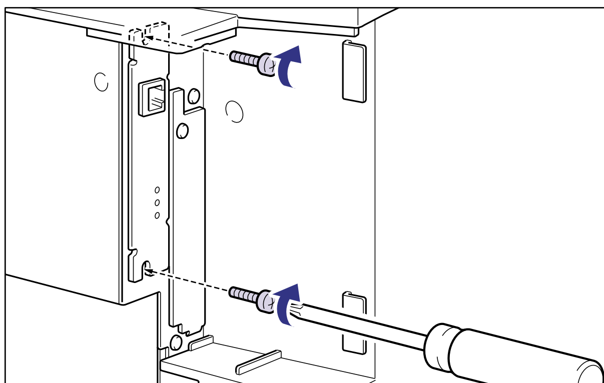
プリントサーバは、金属製のパネル部分を持ち、拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。




重要

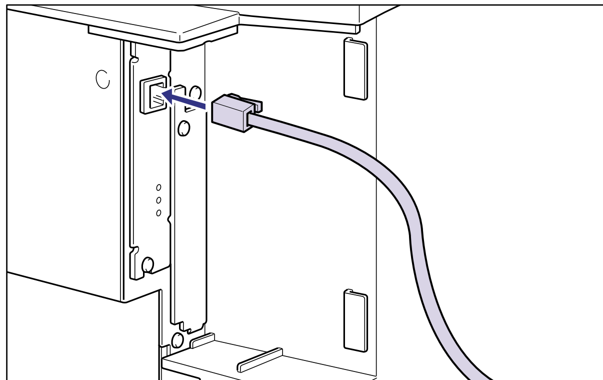
- プリントサーバの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- プリントサーバのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

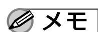
6 プリントサーバの上下を付属の2本のネジで固定します。



7 LANケーブルを接続します。

お使いのネットワークに合わせて、プリントサーバのLANコネクタに対応したLANケーブルを接続してください。



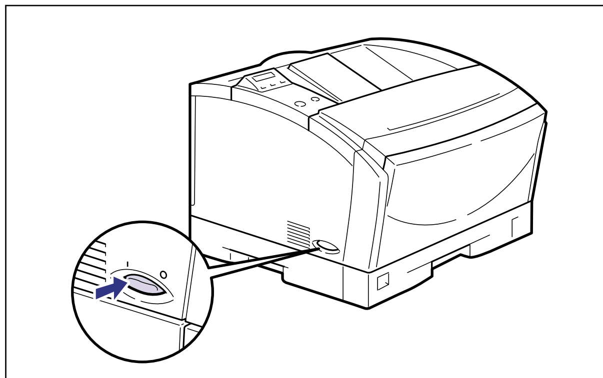


ネットワークとの接続については、プリントサーバに付属の取扱説明書を参照してください。

8 すべてのインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

9 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

10 電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源をオンにします。

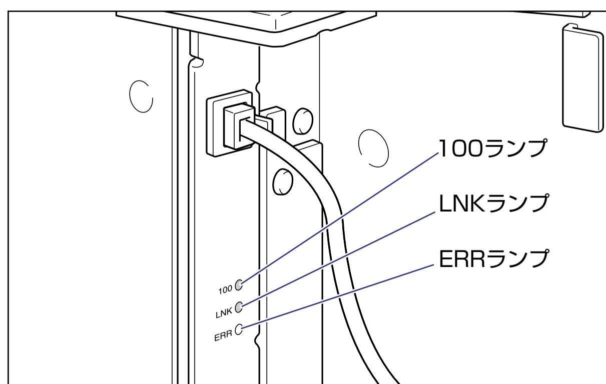


しばらくするとディスプレイに「00　LIPS」と表示され、プリント可能な状態になります。

重要
- 正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、ユーザーズガイド「第5章 困ったときには」を参照してください。
- プリンタを設置後、初めて電源をオンにするときは、電源を入れる前に必ず給紙カセットを本体にセットしてからプリンタの電源を入れてください。
- プリンタを設置後、初めて電源をオンにしたときに、白紙が1枚排紙されることがありますが、異常ではありません。

11 プリントサーバのLNKランプ（緑）が点灯していることを確認します。

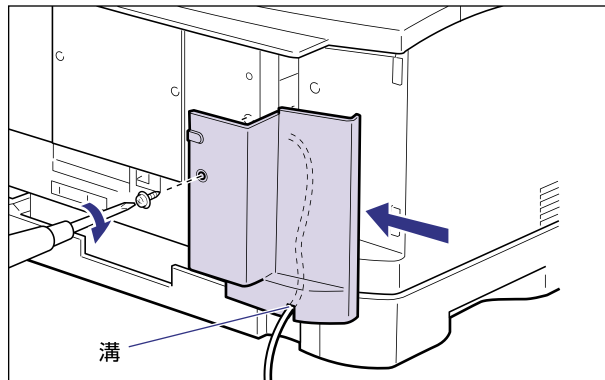
10BASE-Tの場合は、LNKランプが点灯していれば正常です。
100BASE-TXの場合は、LNKランプと100ランプが点灯していれば正常です。



正常に動作していない場合はプリンタの電源をオフにし、LANケーブルの接続やハブの動作、プリントサーバの取り付け状態を確認してください。（→プリントサーバに付属の取扱説明書）

12 確認が終わったら電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにします。

13 LANケーブルを拡張ボードスロットカバーの溝に通し、ネジで拡張ボードスロットカバーを固定します。



重要 拡張ボードスロットカバーを取り外したまま使用しないでください。

プリントサーバを取り外す

プリントサーバの取り外しは、次の手順で行います。プリントサーバの取り付けで取り外した拡張ボードスロットの保護板とネジをご用意ください。

注意
- プリントサーバを取り外すときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
- プリントサーバの取り扱いには注意してください。プリントサーバの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

重要 プリントサーバを取り外すときは、必ず電源をオフにし、電源コードとインタフェースケーブルを取り外して、作業しやすい場所へ移動して作業を行ってください。

---

1 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線をアース線端子から取り外します。

2 プリンタ背面のネジを取り外し、拡張ボードスロットカバーを取り外します。

3 すべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外します。

4 2本のネジを外して、プリントサーバを取り外します。

取り外したプリントサーバは、取り付け時に入っていた保護袋に入れて保管してください。

重要
- プリントサーバの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 指示以外のネジは取り外さないでください。

5 拡張ボードスロットの保護板を取り付け、ネジで固定します。

6 すべてのインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

7 ネジで拡張ボードスロットカバーを固定します。

重要
拡張ボードスロットカバーを取り外したまま使用しないでください。

8 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

プリンタの動作と機能を確認する

4
CHAPTER

この章では、設置後のプリンタの状態や設定値などを確認する方法について説明しています。

動作を確認する

本プリンタは、現在使用可能な機能および現在の設定値を確認するためのステータスプリント機能があります。プリンタの準備や接続が終了したらステータスプリントを行い、正しく動作することを確認してください。

プリンタの動作を確認する

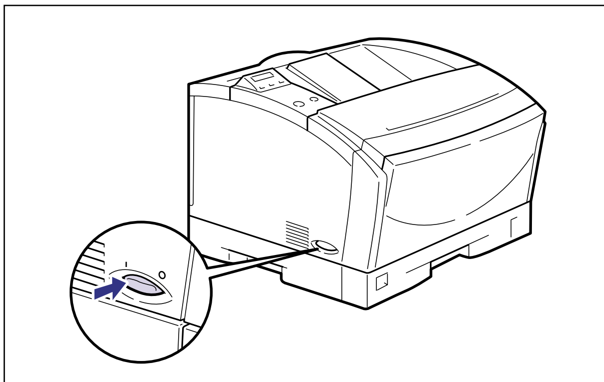
現在使用できる機能やメニュー設定値の一覧を確認するときは、ステータスプリントを行います。

メモ
- ステータスプリントは、A4サイズ用に設定されています。他の用紙サイズでもプリントできますが、拡大または縮小されたり、一部がカットされたり、片寄ってプリントされることがあります。
- プリンタの操作パネルからメニューで設定した値は、ステータスプリントにも反映されます。ただし、コピー枚数は無視され、常に1枚の用紙がプリントされます。

ステータスプリント

ステータスプリントは、次の手順で操作します。

1 電源スイッチの“I”側を押してプリンタの電源をオンにします。



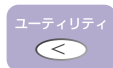
しばらくするとディスプレイに「00　LIPS」と表示され、プリント可能な状態になります。

重要　正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、ユーザーズガイド「第5章 困ったときには」を参照してください。

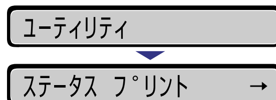


2 [オンライン] を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。



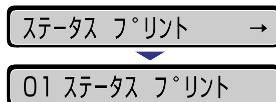
3 [ユーティリティ] を押します。



ディスプレイに「ステータス　プリント」と表示されます。



4 [実行] を押します。



ディスプレイに「01　ステータス　プリント」と表示され、ステータスプリントがプリントされます。

ステータスプリントのプリント内容

ステータスプリントを行うと、次のようにプリントされます。ステータスプリントでは、現在使用できる機能や、プリンタ機能メニューで設定されている設定値の一覧、プリンタに内蔵されているソフトウェアやハードウェアのバージョン名、プリント枚数などを確認できます。


重要　ここに掲載されているステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで出力したステータスプリントとは、一部内容が異なる場合があります。

Canon　**STATUS PRINT**　LASER SHOT LBP-1420

A3　セントロニクス　USB　拡張

バージョン : XXXXXXXXXXXX
サブバージョン : XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
エンジンバージョン : XXXXXX

全体メモリ搭載状況 : 12 (12 MB + 0 MB)
空きメモリ量 : 1858 Kbytes

拡張機能グループ
スリープ動作 : する
スリープモード : 15分
警告処理 : 継続
自動エラースキップ : 使わない
表示言語 : 日本語
ブザー警告 : 1回
警告表示 : する

給紙グループ
給紙モード : 自動
トレイ用紙サイズ : A4
デフォルト用紙サイズ : A4
用紙の向き : 自動
トレイ優先 : しない
自動選択/トレイ : 使う
自動選択/カセット1 : 使う
デフォルト用紙タイプ : 普通紙
用紙名称/トレイ :
用紙名称/カセット1 :

レイアウトグループ
コピー枚数 : 1枚
縦補正 : 0.0mm
横補正 : 0.0mm
綴じ方向 : 長手
綴じ幅 : 0.0mm

印字調整グループ
スーパースムーズ : 使う
解像度 : ファイン
階調処理 : 標準
トナー節約 : 使わない
トナー濃度 : 4
中間調選択 : パターン1
バンド制御 : する
画質警告 : 継続
印字動作 : 自動

インタフェースグループ
インタフェース選択 : 自動
タイムアウト : 15秒
Busy-Ack : A-B-A
セントロスピード受信 : 高速
セントロスピード送信 : 高速
インプットプライム : 動作モード依存
双方向 : ECP
ジョブ区切り : しない

ユーザメンテナンスグループ
特殊モードK : モード1

デバイスID
Manufacturer : Canon
Model : LASER SHOT LBP-1420
Description : Canon LASER SHOT LBP-1420
CompatibleID :

搭載コントローラ
LIPS　Ver.01.26　LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。

USB
ベンダーID : 0x04a9
プロダクトID : 0x2627
シリアルナンバー : 000000000000

Page Count : 0000007

付録

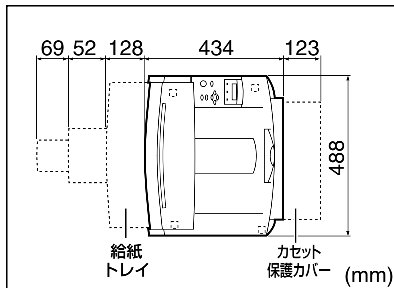
5
CHAPTER

この章では、各部の寸法や、ソフトウェアのバージョンアップ方法、保守サービスのご案内などを記載しています。

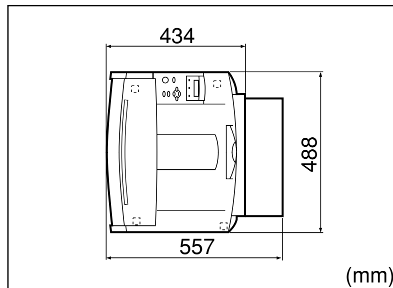
各部の寸法

■ プリンタ本体

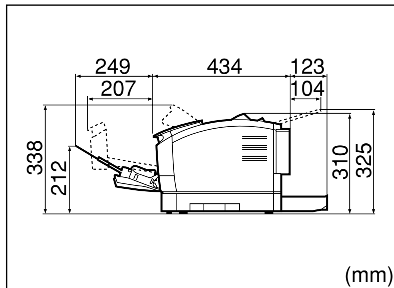
• 標準仕様（給紙カセット横送り状態）



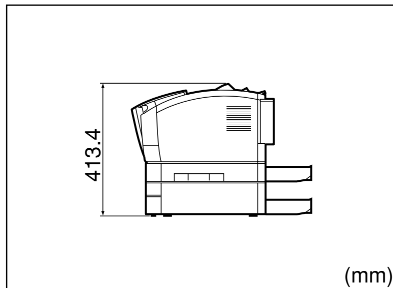
• 標準仕様（給紙カセット縦送り状態）



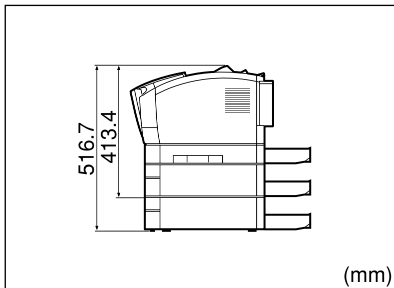
• 標準仕様（給紙カセット縦送り状態）



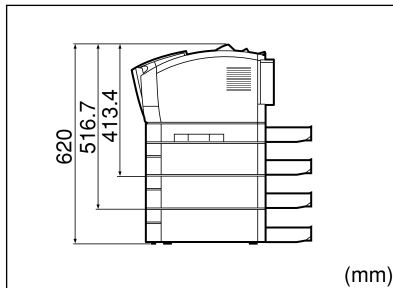
• ペーパーフィーダ１台装備仕様



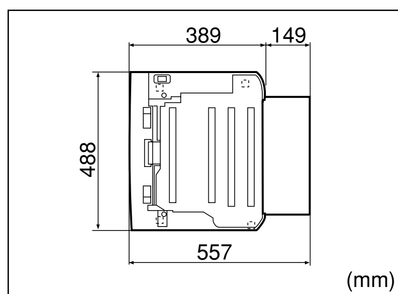
• ペーパーフィーダ2台装備仕様

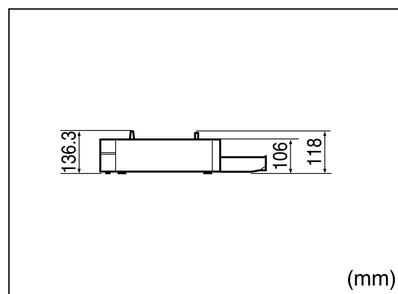


• ペーパーフィーダ３台装備仕様



■ ペーパーフィーダ





索引

ハ行

マ行

ヤ行

保守サービスのご案内

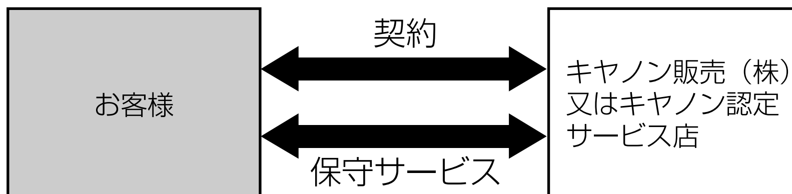
■ **ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために**

このたびはレーザショットプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザショットプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

5 付録

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）



キヤノン保守契約制度のメリット

■ **都度の修理料金は不要**

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ **保守点検の実施**

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

キヤノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、３年間、４年間、５年間のタイプを用意しています。（無償修理保証期間を含みます）

キヤノンサービスパックのメリット

■ 簡単登録

従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

■ 電話一本

万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様IDとトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

■ 固定料金

キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：	故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。
修理料：	修理時に発生する訪問料金・技術料・部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）
保守期間：	対象製品購入後、3年間、4年間、5年間です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。
「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノン販売（株）までお願いいたします。

補修用性能部品

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後７年間です。

無償保証について

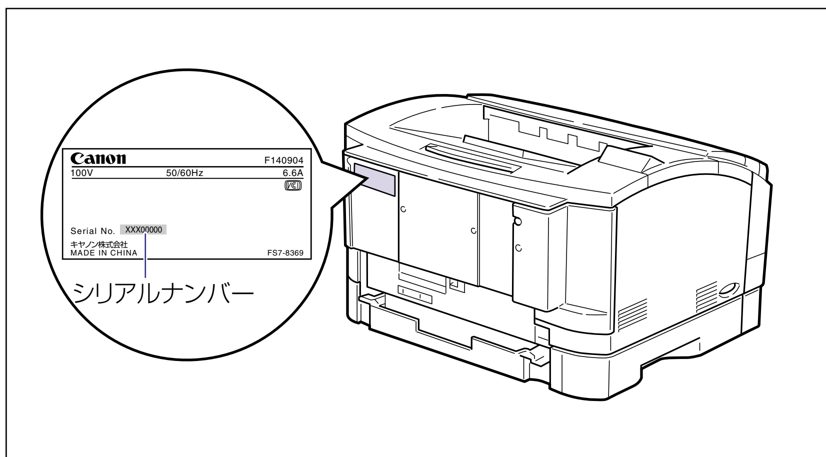
- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

シリアルナンバーの表示位置について

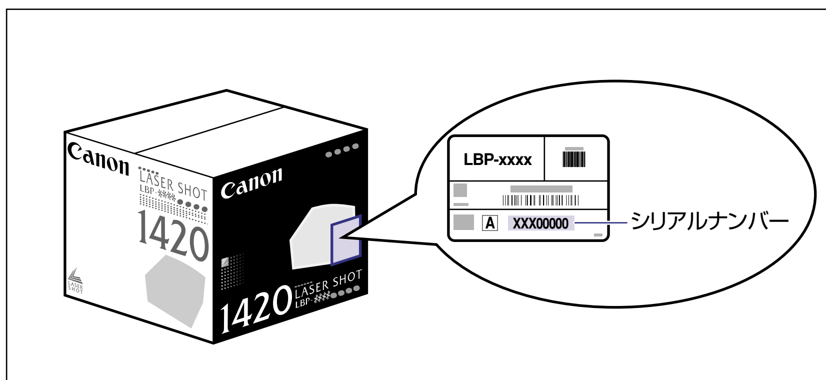
本プリンタの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバー（Serial No.）が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

 シリアルナンバーが書かれたラベルは、サービスや保守の際の確認に必要です。絶対にはがさないでください。

■ 本体背面



■ 梱包箱外側



5
付録

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ キヤノンホームページ (http://canon.jp/)
商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードおよび代引き配送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ キヤノンホームページ（http://canon.jp/）
キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

■ CD-ROMの代引き配送サービス
プリンタドライバなどのソフトウェアのCD-ROMを有料（代金引き換え）にてお届けいたします。
ソフトウェアの種類、内容、金額はキヤノンホームページでご確認いただき、巻末のお客様相談センターへご注文ください。

- 対象エリアは日本国内とさせていただきます。



本書は、本文に100%の再生紙を使用しています。

リサイクルに配慮して製本されていますので、不要となった際は、回収リサイクルに出しましょう。

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

Canon

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

[受付時間] <平日> 9:00～20:00 <土日祝日> 10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノン販売株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

Canonホームページ：http://canon.jp

PUB. R-IJ-1055AF